

勝山小学校区 保護者説明会【会議録】

1 日時

令和5年1月27日（金）19時～22時40分

2 場所

勝山小学校多目的室

WEB ライブ配信

3 参加者

○ 会場参加者 24名

WEB 配信視聴者 最大37名（平均30名）

4 出席者

○ 区役所

大川 博史 生野区役所地域活性化担当課長兼生野区教育担当課長

竹中 一郎 生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理兼教育政策課生野区教育担当課長代理

藤井 啓太 生野区役所地域まちづくり課担当係長兼教育政策課担当係長

白石 秀一 生野区役所地域まちづくり課兼教育政策課担当係員

渡辺 久志 生野区役所地域まちづくり課兼教育政策課担当係員

5 配付資料

・配付資料 学校配置の適正化について（生野区役所）

6 説明会の概要

（1）区役所からの説明

・資料に沿って説明。

（2）主な質疑等の概要

（保護者1）

・今日は説明会ありがとうございます。本日、意見を交換する場ということでもありましたので、まずご意見から言わせていただきますと、今回、学校を統合することにつきましてはクラスが減っている現状を鑑みて賛成という立場でございます。

ただ、住んでいる場所は生野未来学園が近くはあるんですけども、そちらに子どもを入れたくないという立場でございます。この理由は今まで東桃谷幼児の園、東桃

谷小学校の近くの保育園になりますが、子どもがそこに通っている中で友達がたくさん東桃谷にいますので、できれば前回、ちょっといつか忘れましたが説明いただいた東桃谷に勝山小学校の生徒を全て入れるという案をそのまま継続していただけたらと考えております。

その立場の上で質疑をさせていただけたらと思います。まず一つ、今回3案、A案B案C案で校区を分けるというふうに伺いましたけれども、私としてはラインで分けるのではなくて、各世帯の希望を聞いていただいて、学校を入れる先を決めていただきたいと思いますので、この分ける理由というのを教えていただけますでしょうか。

(区役所)

- ・ はい、ありがとうございます。まず校区を分けるといいますか、まず、校区は決めないといけないんです。どっちでもいける、どこでも行けるという形というのは、施設整備の上で必要な教室の数ですとかそういったことを考えていく上で数が読めないと必要な教室数を作れないという形になっていくんです。

私も教育委員会の制度を詳しく知ってるわけではないんですけども、校区を指定しない学校というのはあることはあって、例えば、大阪府で申し上げますと5つあります。今、各区でいきますと学校選択制というのをやっていますけれども、大阪府内全域から児童生徒募集してる学校はあります。そういったところは校区を持っていないという概念には当てはまるんですけども、ただ、そこも当然その基準となる校区は持っていて、その基準となる校区にいる子どもたちを受け入れるだけのキャパシティを持ったうえで、全市から受け入れるだけのキャパシティを余分に持っているという形になるんです。

そういったものが例としてはあるんですけども、こちらの勝山小学校の今の校区ですね、これを東桃谷小学校でも未来学園でもどっちでもいけるようにというふうな形にはできないんです。なので、あくまでも校区としてはどこかで線を引かないといけない。

学校選択制という制度がこの生野区の西部地域でも昨年の4月に入学のお子さんから適用しているんですけども、小学校に入学する時、中学校に入学する時、その時には区内のどこの学校でも選べるという制度が始まったところです。ただし、その場合でも受け入れる学校のキャパシティというのがありますので、受け入れる数を超える応募があった場合には抽選になるという形になります。

それとあと一つ、これまでいろいろと意見をお伺いしている中で、入学する時はその学校選択制があるというのはわかったと。今、通っているお子さんがこの校区を分けることによって、急に学校がわかれてしまうのは何とかならないのかといったご意見というの、この間、頂戴していただいて、そこにつきましては、教育委員会の承認が必

要になってきますので、今、こうしますというのを明言できないんですけども、我々が考えていますのは、学校を再編するとき、その時点で在籍する児童に関しては、基本的には東桃谷小に行く子どもと生野未来学園に行く子どもがいますけれども、最初るときだけは、在校生は違う方を選べるという形の特例を設けていきたいというふうに思っているところです。

繰り返して恐縮なんですけども最終的に教育委員会の承認が必要になってくるので、そういったことを考えていきたいというふうに思っています。ですので、在校生についてはそういった特例をこれから作っていきたいということと、未就学児、まだ入学前のお子さんについては学校選択制で対応いただけたらというふうに思っているところです。ちょっとお答えが足りないかもしれないですけど。

(保護者1)

- ・ では今の質問に追加して二つございます。

まずA、B、C案とありますけれどもまずD案として、そもそも勝山小学校区の人間は全て東桃谷小学校に行くという選択肢がキャパシティとしてあるのかどうか、先生の数とクラスの数になると思うんですけども、その調査について結果を具体的に教えていただけたらと思います。もう一つはすいませんちょっと失念しましたのでまずその点、教えていただけますか。

(区役所)

- ・ 全体がいけるかで申し上げますと、すいません、今、手元に資料はないんですけども、キャパシティとして全体でもいけるという数があります。あと、先生の数につきましては再編時のときの学級数に応じて先生の配置が決まりますので、先生はこの統廃合で足りなくなるとかそういったことはないです。新しい学校として始まる時の学級数に応じて配置されるという形になります。

(保護者1)

- ・ ありがとうございます。すいませんもう一つちょっと思い出しました。

選択制をしばらくできるようにするという話だったかなと思うんですけども、今、令和8年度の4月から開校という予定だと思うんですけども、そこから大体何年ぐらい選択できるように考えていただいていますでしょうか。お願いします。

(区役所)

- ・ ありがとうございます。まず、学校選択制につきましては令和4年から制度を始めまして、今のところ、どこかで終わるという予定はないです。ただ、選択制は入学する時点、要は1年生に入るときにどこを選択するかという制度になってきます。それと

特例として検討していますが、令和8年4月に、新しく2年生以上に進級する子どもたちについてはそのときだけどっちでも選べるようにと。そういった特例を考えているところです。

(保護者1)

- ・ すいません、ちょっとわかりにくかったのもう一度お願いしていいですか。

(区役所)

- ・ まず学校選択制という制度、これは今回の学校の再編に関係なく導入している制度なんですけども、学校選択制は、小学校に入学するとき、要は1年生になるときに、どの小学校に行きたいかということを選ぶ制度になっています。ですので、1回入ってしまうとそこから他の学校を希望して変わるということはできないというのが学校選択制です。

それとは別に、今回、令和8年4月を目指していますけども、令和8年4月に学校再編する、勝山小学校区を二つの場所に分けるときに限って、どちらかを選ぶということを可能にしたいというふうに思っています。ですので、令和7年度に1年生から6年生で在学しているお子さん、その子たちは、どちらでも選べるようにという特例を設けていきたいと。6年生のお子さんも中学校、どっちに行くんだという話もありますのでそこも検討したいと思っています。

(保護者1)

- ・ その年に入学する子については適用外ということですか。

(区役所)

- ・ 令和8年4月に入学するお子さんは学校選択制で希望していただくと。

(保護者1)

- ・ わかりましたありがとうございます。はい、もう一つ質問よろしいですか。学校跡地の検討についてなんですけれども、こちら令和8年度の4月から、跡地の活用を始めるという方針かなと思うんですけれども、ちょっと2点確認したいことがありまして、一つは想定する跡地の活用モデルについて何か想定があるのかどうかというのが一つ。もう一つは、こちらについてサウンディングまでするのでなかなかそうはならないと思うんですけど、令和8年度4月に事業が開始できない。要は不調になった場合、小学校の合併についても同様に延期するのか、それとも跡地の活用と学校の合併については別事業として扱うのかについてお願いします。

(区役所)

- ・ まず1点目のモデルですね。今現在で申し上げますとモデルはないです。例えば建物施設全てをそのまま活用するという形でいきますと、令和3年4月に閉校しました御幸森小学校が、株式会社リタウンというところと、生野区のNPOの多文化ふらっというところの共同事業者が活用を始めています。イメージ的に言いますと、食を通した地域貢献とあと多文化共生の拠点、そういったイメージで活用が始まっています。

あと、今年の4月からは、もと生野小学校、もと林寺小学校。この2校についてはインターナショナルスクールが入ってくる予定です。もと生野南小学校、こちらにつきましては学校法人が入ってくる予定になっています。

ただ、この4月に契約する予定ですが、どこも4月にすぐに事業開始するのではなく、事業者が使っていくための改修工事ですとかそういった事業者のプランがありますのですぐに使っていくわけではないということです。

あと、それが正しいモデルの形になるかといいますと、そういうわけではございませんで資料の中でもあるんですけども、勝山小学校は校舎が非常に古いと。他の小学校の跡地でいきますと、事業者と契約しているのが20年間とか25年間とか、そういった単位で契約をしています。それは校舎とか施設の経過年数に応じて年数を設定しているんですけども、勝山小学校は築60年を超える校舎というのが非常に多いので、他と同じようにはいかないのではないかとこのように思っています。

そういったこともありますので、マーケティングリサーチという活用の可能性の調査をやった上で、マーケットサウンディング、実際の市場調査をやっていくと。他のところは、マーケットサウンディングというのだけをやって、事業者の募集をやったんですけども、勝山小学校はその前段で、その可能性の調査もしっかりやっていくという他ではやっていない形を考えているところです。

それと2点目は事業者を募集して不調になった場合ということで、学校再編の話と跡地活用の話はセットものなのか別物なのかといったことですが、これは別物になります。学校の再編は再編でやっていきますが、跡地につきましては跡地として進めていきます。これについては、できるだけ早くやりたいというのが我々の希望です。事業者が決まらずに校舎を使わない期間があいていくと、建物を使わなければ使わないだけどうしても傷んでいきますので、できるだけ学校が閉校になったと同時に、事業者を活用していただけるような形で進めていければということでスケジュールのイメージを作らせていただいておりますが、基本的には別のものということになってまいります。

(保護者1)

- ・ わかりました。ありがとうございました。

(保護者2)

- ・ 説明途中から遅れて入ってきたので、繰り返しになったら申し訳ないんですけども、確認したいのが、学校の統廃合っていうのはもう決定事項なのかどうかっていうのが一つと、もう一点は跡地の活用の話なんですけど、先ほどのご説明の中で、校舎が非常に古いということで、耐用年数とか耐震の問題が今後出てくるということを想定されていると思うんですけど、このマーケティングリサーチ等で現校舎を活用して跡地活用してくれる事業者がいなくなったら、じゃあ売らましようかっていうふうになるのかどうかを聞いておきたいのでお願いします。

(区役所)

- ・ まず統廃合は決定かどうかということですね。資料の中で申しますと、14ページに書かせていただいております、今は、この左上にあります区担当教育次長である区長が、この計画案を作成する前の段階です。ただ、この上に書いています条例で適正規模を下回る学校、小規模校については適正規模にしないといけないということが定められています。

ですので、まだ計画はない状態ですけれども、この勝山小学校が6学年で11学級を下回る状況が続くと見込まれていますので、この統廃合をしないといけないということとはならないです。市内の中心区みたいな形でタワーマンションがいくつもできて子どもが急激に増えるといったことになれば、もちろんそのときは計画を作っても、その計画を廃止する可能性はあります。ただ、本当に各学年2クラス以上になることが見込まれる状態にならないとこの学校再編がなくなることはないというのがまず1点目です。

それと跡地ですね、非常に地域の方からもご心配の声をたくさんいただいております、校舎が古く、現状のまま使うという事業者が現れるかどうかということで、マーケティングリサーチをやります。例えば、今の校舎でそのまま使ってくれる事業者の応募が可能性としてあるかどうか。もしくは講堂、体育館は残して校舎を解体し、活用してくれる事業者が現れるか。更にもっといきますと、校舎を解体して新しい建物を建てて、活用してくれる事業者が現れるか。もちろん事業者も企業ですので、その投資に見合う回収が見込めるか見込めないかということで判断はされますけども、そういったのをマーケティングリサーチで調査していくというのがあります。

で、それが仮に事業者からの応募が見込めなくなった場合に売ることに関して、基本的に生野区の西部地域、災害時の避難所、要は寝泊まりできる避難所というだけではなくて広いスペースですね、広い空間自体、この西部地域は少ないエリアになっています。ですので、この土地を売るというのは今は区役所としてはいいです。大阪市としても、生野区は土地を売らなくていいという許可をもらっていますので、もう劇的な想像もつかないような状況変化があればそれはわかりませんが

もそういったことはないと思っています。

(保護者2)

- ・ ありがとうございます。

(保護者3)

- ・ 今、生野西に住んでるんですけど、次のやつやったら西生野小学校とか、あそこ近いからあそこに行かなあかんみたいな感じじゃないですか。一応、今、小学校に子どもいってるんで確認なんですけど、今の子どもは桃谷中学校とか東桃谷小学校に行けるっていうことでいいんですかね。

(区役所)

- ・ 今のお子さんはこちらでも選べるようにという特例を設けていきたいと思っています。

(保護者3)

- ・ ありがとうございます。今の状況から考えると特にあっこやったら、中学校と小学校が隣接してて、その西生野小学校と生野中学、小中一貫校みたいなのができていると思うんですけど、あそこもそういう感じになるんですか。じゃなくてただ単に小学校だけ潰れるっていう感覚なんですか。

(区役所)

- ・ はい、ありがとうございます。平成28年当初は、先ほども説明のときに簡単に申し上げました12小学校と5中学校を4小4中にする、要は全てを1小1中にして、小中一貫校にするということを当時、申し上げていました。今回の案でいきますと、桃谷中学校区につきましては、2つの小学校と1つの中学校という形になります。

例えば場所が離れていても、小中一貫校という形でやっているところはあるんですけども、この桃谷小学校区に関しては2つの小学校と1つの中学校ということで若干他とは違います。ただ、小中連携した形での教育効果を高めていけるようなこと、現時点で具体的にご説明できる内容というのはないんですけども、こちらにつきまして、教育委員会とも話をしながら、具体的にどういったことがやっていけるかっていうのを検討しているところです。

ですので、今、ここは小中一貫校という形にはなっていないんですけども、小中連携してやっていける教育内容、効果を高めていく方法というのは、しっかり考えていかないといけないと思っています。

(保護者3)

- ・ ありがとうございます。あとはその合併とかなって制服がどうのこうのってあったと思うんですけど、新しいのを買わなくてはいけないってなったら負担になると思うんですよ。だから別に合併したってそのままの制服でいいかどうかというのと、あとは学校の跡地っていうのも、結局、この辺ででかい公園とかないんで、それやったら更地にしてでも公園と何か避難所みたいな建物を作るとか、そもそも僕らそんな田舎じゃないんで、そんな広いグラウンドが取れないと思うのでせめて校舎を潰してやったら、芝生でも引いているんな学校が使えるようなグラウンドに整備するとか、何かそういうのはないかなと思って質問させていただきました。

(区役所)

- ・ ありがとうございます。まず標準服の関係ですね。制服というのが正式には標準服という言い方になるんですけども、こちらの YouTube をご覧いただいている方からも質問をいただいています。

標準服につきましては、この学校を統合したときに買い替えないといけないといった場合については、これは行政負担で買い替え分の標準服をお渡しするという形になってきます。ただ、これは新しく入学するお子さんは、統合があってもなくても、標準服を買っていただくこととなりますので、再編のときに2年生から6年生になる子ども、ご家庭については行政負担で購入するというのが進め方としてあります。

ただし、こちら勝山小学校と東桃谷小学校、生野未来学園で言いますと、勝山小学校、皆さん標準服を着ていますが、東桃谷小学校は標準服が指定されておられません。要は私服です。未来学園は標準服が指定されているという形になりますので、実際に東桃谷小学校に行くときに買い替えるという必要はないことになります。ただ、そのときに東桃谷小学校が今は標準服がないけども標準服として作るとなれば、買い替えの必要が出る場合は行政が負担するという形になっていきます。

それと跡地につきましては、非常に他にもいろいろそういったご意見というのはあるんですけども、具体的にはこの跡地検討会議という方でご意見頂戴しながらやっていくこととなりますが、今日いただいたご意見は、きっちり区の中でも共有していきたいと思っておりますのでよろしく申し上げます。

(保護者3)

- ・ あともう一点、最後に小中くっつけてってなると思うんですけど、通学路の安全とかおっしゃってたと思うんですけど、守口とかであったみたいに、小学校の一角に交番所を置いてとかみたいな、そういうなんというのは検討とかされてないですか。

(区役所)

- ・ 今、生野区内でも学校敷地といいますか、端っこに交番があるところはあるんですけども、警察に確認をしないとなんとも言えないんですが、今、学校の敷地の端っこに新たに交番を作るといことはなかなか難しいという話は伺っております。

(保護者3)

- ・ わかりました。ありがとうございます。あとは最後に学校の利点・課題ということで、僕、勝山小学校に子どもを通わせてよかったと思うのはクラス少ないんですけども、結構なんか仲良くやってるし、校長先生はじめ、言うたら1年から6年で、皆で遊んでとかあると思うんで、別にこれが一概に課題ではないのかなと思ってるのでそれだけ言わせてもらいます。

(保護者4)

- ・ すいません失礼します。先ほどの方とかぶるんですけど、在校生は好きな方選べるってというのは、もう一度確認で、中学校も東桃谷小学校なら桃谷中学校を、未来学園に行けば、生野中学校にそのまま特例として上がっていいのかということを確認したいのが一点。

在校生は好きな方を選べるけれども、その次、入学してくる子は特例じゃないので選択制で行かなければいけない、その場合はきょうだいが別々になってしまうっていう可能性もあるということなのかということと、7年前の説明会にも参加させていただいたんですけども、その時には勝山小学校はみんな東桃谷小学校行くよっていう話をしていた、今回、登下校の安全とかが不安っていう意見があったからこういう未来学園への校区設置を検討していると伺ったんですが、そのまま7年前の案を採用して勝山地域はみんな東桃谷小学校。今、せっかく学校選択制があるのでやっぱりそれでも不安やっていうご家庭は、選択制で生野未来学園へ行くという形をとるということをご家庭的には検討しているのかどうかということをお教えいただければありがたいです。よろしくお願ひします。

(区役所)

- ・ まず、在校生はどちらでも選べる、中学校に上がる時にはそのまま上がれるのかといったことで、在校生はどちらでも選べるといいますと少し語弊がありますので、もう一度説明をさせていただきます。

基本的には校区を決めます。ここのエリアは東桃谷小学校、ここのエリアは生野未来学園という形で決めますけども、そのときに生野未来学園の校区だけでもやっぱり友達の関係とか含めて東桃谷小学校に行きたいといったお子さんと、もしくは東桃谷小学校の校区だけでも生野未来学園に行きたいというお子さん、在校生についてはそう

いうお子さんを特例として希望を聞いて対応したいということを検討している。結果的には同じなんです。

ご質問としては、校区で言うと生野未来学園の校区ですが東桃谷を選びました。その後、中学校も校区としては未来学園だけど、東桃谷に行ったから中学校もそのまま桃谷中学校に進学できるのかといった内容かと思います。

そこにつきましては、先ほど申しあげました学校選択制という制度は小学校入学時だけじゃなくて中学校入学時もありまして、そこは学校選択制での希望という形になります。ただし、学校選択制で希望された場合に募集定員を超える希望があった場合は抽選になるんですけども、抽選のときに優先順位というのをつけていきます。その優先順位をつける中に、きょうだいがこの学校に行ってる場合と、自分の住んでいる住所の校区じゃない小学校に通っていて、その小学校の進学先である中学校を選ぶ場合、この二つに関しては、抽選になったときに優先的に順番をつけると形になりますので、その中での対応という形になっていきます。

ただ、もちろんそれも受け入れの枠の問題というのがありますので、その優先順位がつく方たちがたくさんで、定員を超えるような状況になった場合というのは、そのときは申し訳ないんですけども行けないという可能性は残るという形になってまいります。

もう一つが、みんなを東桃谷にして未来学園を選択制での希望にすればいいんじゃないかということが検討の余地としてあるのかという話でした。こちらにつきましては平成 28 年の案ではそういう考えでやっておりましたが、平成 28 年から、いろいろと何度か説明会や意見交換会をやっている中で、直接、区役所にそういったご意見を寄せられるということもこの間ありました。ですので、この勝山小学校区については東桃谷と、南の方、どこで分けるのかというのがありますけども南の方は未来学園の校区に分けると、その上で別を希望される場合は、学校選択制でというのが区としての考え方になっています。

(保護者 5)

- ・この度は説明会ありがとうございます。まず皆さんとかぶってしまうかもしれないんですけども、少人数でも、勝山小学校に通えて、みんな仲良くて先生方も、皆さん目が届いて、子どもたちの環境的にも本当にもう満足して卒業させていただけることができると思ってます。それで、今回、コロナで休校があったんですけども、その際に勝山小学校の周りってというのが、子どもの声が聞こえないことによってすごく活気がなくなったんです。

地域全体が本当にもう静かで、お年寄りの方がたまたま歩いていて、ちょっと気分が悪くなったっていうときも、誰も気づかないっていう状況があったんです。そういうのを見ると、子どもたちが「あのおじいちゃんちょっと倒れてるよ」とか、小学校の子

らが言ってくれるっていうのを本当にありがたいと思って、子どもらにも感謝してることが多々あったんです。

統廃合した林寺の方なんですけれども、地域の方に活気がなくなったっていうのはよく聞くんです。子どもたちも下校の際に30分くらい時間がかかると、4時頃に帰ってきてもう遊ぶ時間がないっていうのもよく聞くんです。子どもの下校に関しても低学年と中学年、みんな下校の時間とかも変わってくるんです。これからその統廃合にかけて、もう統廃合しないでくださいっていうのも子どもが減ってるので、もう無理やって言われたらまあ仕方ないと思うんですけど、ただ子どもたちをこれから育てていくにあたって、やっぱり大人たちもそうなんですけども子どもらが安全に通えるっていう環境を作っていくってあげないといけないと私は思っているんです。

それに関して、区役所で子どもの安全性に関して見守り等も検討されてるのかっていうのも、今の段階でどこまでどういうふうに考えてるかなっていうのを教えていただきたいです。子どもたちが遊ぶところもないので、先ほど言われてたように学校跡地に関して、子どもたちがとにかくボールで遊んだり、今、下校後に学校も校庭開放していただいているんですけれども、そのときにも子どもたちがすごく楽しそうに運動場で遊んでいるんです。

そういった環境っていうのは大人が作っていくってあげないといけないかなって思っていますので、それもやっぱりこれから課題として挙げていただきたいなと思って、お伝えさせていただいています。お願いします。

(区役所)

- ありがとうございます。もう約3年前ですかね、コロナで一斉休校とかあって、地域の方、保護者の方にもいろいろと非常にご不便、ご苦勞をおかけしているというふうに我々、十分認識するところです。

今、子どもの安全についてご意見を頂戴しました。区役所として安全対策に関して、ハード的な面で言いますと、今日の資料にはないですけども再編整備計画案を作る際には新しい通学路の案を地図に載せます。その上で実際に学校適正配置検討会議というのを進めていく中で、具体的にそのルートで本当にいいのかどうか、そのルートを通る場合、ここはこういう対策が取れないかどうかといったご意見を頂戴します。

道路の場合は道路管理者と交通管理者というのがありまして、まず道路管理者というのは大阪市の建設局になります。交通管理者は警察です。その頂戴したご意見に応じて、ものによっては大阪市建設局、ものによっては警察と我々が協議しながらそういった対策が取れるか取れないか、そういったことを詰めていくと。

例えばガードレールをつけてほしいと言った話があるとします。そうしましたら、ガードレールをつけるかつかないかというのは道路管理者である大阪市建設局になるんですけども、ガードレールをつける場合には、道の幅や広さの基準がまずあります。そ

の基準があるのと、ガードレールの場合は、地中、道路の下に基礎というブロックを入れないといけません。要は車が当たってもちゃんと中の歩行者を守るような強度を保つための基礎を入れないといけないと。

ガードレールの場合は基礎が深さ1.4mまで深く入れますので、地中にインフラ関係ですね、例えば水道・ガス・電気、電気もある可能性もあります。そういった管が下にあると基礎が入れないのでつけれないといったこと。道路の幅とか、その状況と。あと、沿道の方の承諾、ガードレールをつけるとなると、そこに隣接してる家にお住まいの方でしたら、家の出入り、車の出入り、そういったことに支障が出るということがありますので、そういった方の承諾も必要になってきます。

なので、これは例えですけどもガードレールというご要望があった場合に、そういった条件と照らし合わせて、可能かどうかというのを見極めないといけない。また、そこがガードレールは無理でしたと、そしたら次にどういった対策がとれるのかというのを徐々に、大がかりなものからそうでないものまで検討を進めていくという形でやっています。ハード的にはそういった形で進めていくと。

あと、ソフト面で言いますと、学校によって登校方法が違いますのでここもしっかり調整していかないといけないんですけども、登校時は集団登校ですとか地域の方の協力による見守り隊とかそういったのがあります。

ただ、下校時が常に問題になってくるということで、学校再編を行ったところについては、区役所から委託をした上で下校時間帯に子どもたちの見守りを巡回方式と、定点、要は1ヶ所に立ってというのを人を配置して、下校時間帯の見守りというのをやっているところなんです。同じようにこの勝山小学校区域の中でも、そういったのは再編後はやっていきたいという風に思っているところです。今時点で安全対策に関しましては、そういったところです。

あと、子どもが実際、他の校区で通学・下校時間が長くなって遊ぶ時間がなくなるといったご意見、そういったのがあるのも伺っております。あと遊ぶ場所ですね。そういったのもございますけども、例えばその遊ぶ場所でしたら、学校の跡地を使うとしたらですが、これも跡地の検討会議で、例えば平日の何時から何時は子どもが遊べるようにといったご意見ご要望というのを伺いして条件に入れていくという形になっていきます。

ただ、その条件が、増えれば増えるほど応募して入っていただける事業者の可能性が減っていくというふうなリスクもあるんですけども、その辺は跡地検討会議の中でそういったことをしっかり議論して条件を決めていくという形になっていきます。先ほどもありましたがそういったその子どもが遊ぶような場所とか、その学校の跡地だけじゃなくてそういった、ご意見があるというのは区役所の中でも他の担当ともそういったお声を共有させていただいて、他でも何かきっかけがあれば検討できるような形でというふうには思いますのでよろしくお願ひします。

(保護者6)

- こちらの資料の15ページに記載されているスケジュールを見ていますと、令和4年度中に計画案を策定されて、その後、5年度中に教育委員会で提出、承認という流れになっているかと思うんですけれども、その時点では、校区の先ほどのABCのパターンでありますとかそのあたりももう既に決めた状態で計画に載せられるのかなというふうに予測しているんですけれどもそのあたりいかがでしょうか。

(区役所)

- このスケジュールのイメージはまず置いておきまして、今回ABCパターン、これあくまでも我々が今、考えうるパターンとしてお示ししています。また最後に説明をさせていただきますけれども、皆さんのどこでというご意見。これを頂戴して、そこで一番多い形でいくのか、もしくはそのいただいた意見の数を参考に、他のことも考慮してっていうのはどういうご意見があるかによってももちろん変わってきますけれども、このご意見を頂戴して、区役所として、どこで校区を分けるという案を作ります。

その案を作った上で出来るのが学校再編整備計画案という形になります。ですので、今日、ご説明させていただきました。ご意見を頂戴します。ここでなかなかご意見というのは出にくいかもしれないんですけども、ご意見を頂戴した上で案を作って、また改めてここで校区を分けますっていうのを再度説明会をさせていただこうかなと思っています。そこで説明会をさせていただいた上で、正式な計画案として、教育委員会に諮っていくというイメージで考えているところです。

(保護者6)

- そのあたりのスケジュール感、大体今から何ヶ月間ぐらいで、こちら辺まで持っていきたいというのはお持ちなんでしょうか。というのは先ほどの学校選択制のお話もあったかと思うんですけれども、その際にも、万が一、抽選、例えば勝山南1丁目の場合、このまま東桃谷小学校に行く可能性っていうのと、生野未来学園に行ってしまう可能性って両方の地域に入っている区域になっているので、そのあたりの決定事項については、個人的には場合によっては引っ越し、全くもう生野区から出てしまう可能性、あと国立とか私立とかを受験させてしまおうかっていうようなところも踏まえて考えたいなというところがありまして、そういうところも踏まえますと、未就学のお子さんをお持ちの保護者の方、本日たくさんいらっしゃると思うんですけれども、場合によっては、もう今からスタートさせたいですっていう方もいらっしゃると思うんです。なのでその辺りのスケジュール感というのをもう少し細かく教えていただけるとありがたいです。

(区役所)

- ・ ありがとうございます。このイメージに書かせていただいているんですけども、この計画案は、今年度中、この3月末までに作りたいと思っています。ですので、早ければ2月終わりまでには、再度案をお示しするような形の説明会、遅くとも3月にはここで分けますという案をお示ししたいと思っています。

(保護者6)

- ・ ありがとうございます。

(保護者7)

- ・ ちょうど子どもが2年生、今、幼稚園の年中なんですけども、きょうだい揃って勝山小かなと思ってるところでこの話が出てきたので、ちょっと動揺してるというか。子どもにどう伝えていってあげたらいいのかなど。まだ案もできてないってことなんで、多分いろんな意見聞きながらしっかりと作っていただけたらと思うんですけども、うちの子で言うたら、ちょうど6年生に上がるときに学校が変わる、というタイミングになると思うんですね。今、来られてる保護者でも、今の1年生・2年生、おそらく今もう年長というんですかね、次、春に入学してくる子も決まってると思うんですよ。制服もね、ランドセルも揃えて。まだ下にいてる子もおるという中でね、今のいろんな意見聞かしてもらってだったらやっぱり、僕自身も東大阪から結婚してこちらにこさせてもらったんですけども、すごく近く公園あったりとか区役所近かったりとか、天王寺も近かったり、僕自身は治安すごくいいなって思ってるんです。勝山小学校、本当に来てよかったなと思ってるし、割と木造家屋多いんですけど、だんだん建て替えも進んできてね、新しい人口、入ってきてると思うんですよ。

私もそのうちの1人なんですけども、妻の実家の旧家を壊してこちらにさせてもらったんですけども、うち、今、言ってた選択制で行かしてもらえたんです。東桃谷学区なんですけどね。勝山通を越えて行くのちょっと危ないかなということ思って勝山小に行けませんかということで、学校選択制で卒業は勝山小でお願いします、途中で東桃谷へ行くのはやめてくださいという形で言われたので、今こさせてもらってるんですけど、勝山小で卒業できないってことですよねこれ。入るとき条件と変わってると思うんです。やはり、どこでこう区切るかというところはやっぱり、街の整備とかいろいろ言ってるんですけど、子どもは人なんで、しかも幼いですよね。

大人はこの話聞いたらわかります。予算的にもね、多分この分削減できたらいろんなところに使えるんやろうなというのもわかるんですけど、やっぱり一番大事にさせていただきたいのは、これ教育委員会にもしっかりと行っていただきたいんですけども、やっぱ今、通ってる子とこれから通う子が、やっぱ途中で学校をこう迫られるっていうんですかね、選択を。この決断をね、誰がするんかって言ったら、それぞれ家庭、子

ども、親やと思うんですよ。これみんなが幸せになるのかなあというのを、すごく今心配してます。

きょうだい関係ももちろんなんですけど、いろいろ話出てたように、選択制も抽選漏れることもありますよね。行政なんで予算があるので、学級数を見ながら多分決めることになると思うんです。35人が今定数ですよ、小学校。中学校もこれからどうなるかわかりませんが、今40人ですかね。その数の枠内で、例えば、次入ってくる子は68人やとした場合は、多分枠2つしかないと思うんですよ。学級数増えるから。教員配置もね、さらに増やさないといけなくなるので、人1人ね、教師雇わなアカんとなったらまたお金のことが出てくると思うので。おそらくその抽選というのは今ね、もうぼやかすしかないと思うんですけども、行政的な視点で見たら、もう枠は2しかないですよ。そこに例えば6人そのまま中学校上がりたいて子供がおったらその6人の中の2人しか多分希望は叶わないと思うんですよ。

優先度が高くても、そういうふう待ち受けてるっていうのがすごく僕は見て取れるのでやっぱり長期的に見てね、これ13ページの未就学児の合計数を見ていたらね、これ5歳の子ですね、この子らが次、新一年になる子たちですかね。37人で2学級じゃないですか。4歳も45人、多いですよ。これも2学級だと思うんです。3歳ももう少し増えたら35人。これ36人になったら2学級だと思うんですよ。2歳児もあと3人増えたら2学級だと思うんですね。で、1歳児も41人で2学級ですよ。今0歳じゃまだ27人で1学級かもしれないですけど、これから先ね、これ本当に、どうなんやろ、僕増えていくんちゃうかなと思うんです。結構やっぱこの地域、すごく僕自身はすごくいいなと思うし、やっぱりまちづくり課さんとしてね、やっぱり町の魅力をもうちょっと伝えてもらうとか、子育て世帯を呼び込む施策とかをすればね、勝山小学校のこの場所的にもやっぱりここに1つ小学校あった方がね、登下校すごく安心やと思うんですよ。

もちろん生野未来さんとか、東桃谷小もあるんですけど、このちょうど勝山小とトライアングルができて、中学校区をどうしていくかっていうところはあると思うんですけど、小学校で考えたときにね、勝山小学校なくすことがこの地域にとって本当によいかというのは、もうちょっと議論していただきたいなと思うんです。

もちろんこれ条例なのでね、どこまでの拘束力があるかということもあるんですけども、本当にそういった視点でも見ていただいた方が、子どもたちがやっぱりここに来ることが町の活性化に繋がると思うんですけど、小学校、この時点で減らしたら、多分もう入ってこなくなりますよね。決まっていったら、この今の1歳2歳3歳も下の子どうしようかなって考えますよね、やっぱ上の子と一緒に学校通わしたいなと思ってたけど、それはもう最初から途中で変わるんやったら、東桃谷いかそうかなとか、そうになったらやっぱ親の負担も増えますよね。迎えに行ったり何かあったりするときでも、2つの学校とやりとりせなアカんってのはすごく負担やと思うので、そういったとこ

ろも考えてもらいたいなど。

もちろん教育委員会でも、多分協議していかなあかん事だと思うんですけども、まちづくり課の視点としてもね、この勝山小学校のこの立地と、この地域でずっと続いている学校。すごく地域の方も良い方たちばかりなのでこの会も荒れないじゃないですか。もう決まったことなのかって諦めてるんかなって思うんですけど僕は違うと思うんですよ。まだ案作ってないので、そこも含めて案作るかどうかも含めてね、ほんまにこの時期が適正な判断の時期なのか、このやっぱ未就学児の子の人数と、これからおそらく建て変わって行って、今のお年寄りの方の子ども世帯であるとか新しい世帯がこっちに帰ってくることによって、多分子どもの人口増えると思うんですよね。国の方も異次元の少子化対策ってね、言っているんで、市の方でも独自にね、生野のね、この地域に住んでたら、塾無料とかね、毎月子ども手当等プラスありますよってなったら、くると思うんですよね多分。その辺りも含めてまちづくり課さんの方でもうちょっと汗かいていただいてほしいなと思いますし、そのために我々も税金払ってると思いますので、よろしく願いいたします。

(区役所)

- ・ ありがとうございます。非常にありがたい意見なんですけども、この未就学児の数、確かに今おっしゃっていただいたように、今のお子さんがそのまま全てその進学してくるとなると、ギリギリ2クラスになるんじゃないかというような数にはなっております。ただ在校生の数をご覧いただいてもそうなんですけども、ここの未就学児のお子さんがそのまま小学校に上がってくるという傾向にはなっていないというのが実態としてあるところです。

毎年、将来推計というのを教育委員会が作っております。過去10年間の実在する0歳児から小学校6年生までのお子さん、その子お子さんが、次、1年進むときに、前年度とどれだけの人数の増減があるか、ということをお子さんを教育委員会でデータを収集しまして、例えば今の年長さんの人数が、次の年の1年生になったときに何人になっているか、という増減の率ですね。その過去10年間の増減率で推計というのを出しておまして、その推計でいくと、今のこの未就学児の数なんですけども、将来的に2クラス維持できるという形にはならないというのが、実態としてあるということをご説明させていただきます。

で、今ご意見いただきましたように、このエリア、非常に建て替わりが進んでいます。これ我々もしっかり把握してまして、今まで、木造の住宅、要は戦火を免れた地域になりますので非常に戦前からの建物が多く残っている、もしくは戦後に建てられたところもたくさんありますけども、そういったところが今、建て替えが進んでいることがこの環状線に近いエリアは非常に顕著に表れているところです。

そこに関しましては区役所としても、大阪市全体として空き家対策・老朽家屋の対策

に取り組んでるんですけども、古い住宅を解体するときの補助金が出るという制度があり、この西部地域はそういう制度の対象エリアとして指定されています。そういったのを区役所としては積極的に、ちょうど昨年春にですね、生野区の広報誌にもそういったことを紹介しながら、古い建物があるのが悪いというつもりはないですけども、やっぱりそのままでは危険になっていきます。ですので、そこを変える仕掛けですね、そういったのを区役所の直接の事業じゃなくても、そういうのがあれば積極的にお知らせしながら活用いただけたらということでやっております。

今年度、本当に非常にたくさんそういった建て替え前の解体がこの勝山小学校区、非常に多いです。ですので、非常に期待しているところです。今おっしゃっていただいたように、入ってきていただける方にはどんどん入ってきていただきたいんですけども、世帯向けのマンションができた場合に子どもがどれだけ増えるか、という教育委員会の統計があります。

例えば世帯向けのマンション 100 件分が一棟建った場合に増える子どもの数は、1 学年当たり 2 人となっています。全体で言うと、当然、既存の 100 世帯のマンションができると 10 人 20 人の子どもが増えるんですけども、年齢別で見ると 2 人ずつというような統計もありまして、マンションの場合でそういった形になります。だから戸建ては駄目というつもりは全くございません。今まで建て替わってなかったところが建て替わることによって新しい方が入ってきていただける。今、全国的な少子化、大きな問題になってますけれども、生野区としてはこの少子化を食い止め、増やすというのは非常に厳しいかもしれませんが、減らさない。今の数を維持するというようなことができないかということで、我々だけではなくて、先ほど申しました空き家対策、空き家を活用するですとか、もしくは新しく建て替えるですとか、で、子育てのしやすいまちにする。これについては区役所の中でも地域まちづくり課だけではなくて保健福祉課ですとか、いろんなどこでこの重要課題として取り組んでいるところです。

今、おっしゃっていただいたように非常に良い町、住みやすい街といったこと、こういったことを逆にお住まいの方々からもどんどん発信していただいて、「選んでいただける町」そういうのは我々行政、もちろんやっていきますけども、ご協力いただけたらというふうに思っているところです。

(保護者 5)

- ・ 引っ越してこられたり、小さいお子さんがいらっしゃるところ、今、統廃合があるっていうので引っ越していく方がすごく多いんです。その説明方法なんですけれども、うちはもう 6 年生なんで、小学校も中学校も関係ないって言えば、冷たく言えるかもしれないですけど、私も勝山小学校卒業させていただいて、勝山中学だったんです。で、やっぱり地域的にも幼稚園があって小学校があって、本当すごい環境で私も小さい頃からここに住んで、子どもたちにとったら良い環境だと思うんです。

でも実際、その幼稚園とか保育園に通ってる方が、どんな話聞いてきたって言ったら統廃合があるって。やっぱり先ほど言われてたように、6年生になったら、ここで卒業できないとかやっぱ聞くんです。それを聞いた親としたら、ここから出て行こうかって思う方って多いじゃないですか。区役所の方に聞いた人とか結構聞くんですけど、勝山地域統廃合あるよっていつも言われるって言うんですよ。そしたらやめておこうか、私学を受験できる方だったらいいかもしれませんけど、やっぱりそんな環境ばかりじゃないじゃないですか。

やっぱり子どもを地域で育てるんだったら、統廃合があるよっていう大人だけでわかるような言葉を使わずに、やっぱり、これからみんなで子どもを育てていきませんかかって私は思うんです。区役所もいろいろあるかもしれませんが、統廃合するよっていうのを簡単に言うのではなくて、やっぱりこの地域・この環境がいいところで、子どもが育って行って、子どもらがまたここに自分の子どもを連れて帰ってきたよっていう街を作るっていう計画は考えられないんでしょうかね。

学校を潰す、建てるっていうことって難しいじゃないですか。だから、この環境、幼稚園があって小学校があって、もう本当恵まれた環境っていうのを大事にしていこうっていうのを検討していただくっていうことできませんかね。私もやっぱり子どもたちが、いずれ大きくなって子どもを連れて帰ってきてほしいなって思うんで、その環境を、大阪市も、生野区としても作っていただきたいなって思うんですけどそれはどうですかね。

(区役所)

- ・ 簡単に統廃合と言って欲しくないといったご意見、例えば区役所にここはどんな状況ですかと聞いたときには丁寧に説明をさせていただきたいと思います。それとこの再編の話につきましては、もう本当に申し訳ないんですけど条例で決まっているというのがありました。この条例ができたきっかけといいますのも、これまでずっと少子化が続いてきて、そういった決まり事がなく進んでこなかったために、全学年ひとクラスしかない学校というのが非常に増えてきたと。で、経験年数の短い教員がたくさん増えた。

これは先ほど申し上げました団塊の世代の大量退職とかそういった状況もありますけども、そういった状況がある中で、やっぱり子どもたちへの教育、小規模な学校にももちろんいいところがありますが、例えば1学年に3クラスあれば、教員もベテラン、中堅、若手、一つの学年をそういった教員に配置することによって、若手教員の育ちやすい仕組みが作れると。そういったことも踏まえ、これは大阪市だけじゃなくて、元々国でも適正規模に持っていかないといけないという方針があるんですけども、そういった中で進んできています。

本当におっしゃっていただいていることはよくわかるんですけども、実際にそうです

ね、今から 25 年前ぐらいでしたら、この桃谷中学校区、今、4つ小学校ありました。西部地域の他の学校もですけども、どこの学校も児童 300 人前後でほぼ学年 2 クラスずつありました。で、そこからずっと減ってきてます。減ってきて、今になって統廃合をやらないといけないようになったのかというところとそうではなくて、もう平成 20 年代、前半からやっぱり小規模の学校はやらないといけないというふうになってきて、でもやっぱりなかなかできなかった。

これは決して間違いではないんですけども、やっぱり学校をなくすということ、統合するというのは地域の方、保護者の方、特に当事者である保護者の方からそういった意見を聞いて進めていこうという形で来ていて、やっぱりなかなかそれが全体的な理解を得ながらというのは難しいところもあって進んでこなかったというのがあります。ただ、そういった状況もあって、条例でそういうことが定められたということがありますので、ここに関しては、例えば勝山小学校を残して、他から他の子どもをこっちに持ってくるのがいいのか、とかそういったことをいろいろ考えなきゃいけないことになるんですけども、それはどこの地域でも皆さん同じ気持ちをお持ちです。

説明の中では簡単にしか説明しておりませんが、統合する場合には、人数の多い方の学校に持っていくということ。あと、施設環境的な面、そういったことを考慮して決めるということがありますので、基本的にこの勝山小学校区を東桃谷小学校区に統合するという形から進めてきているところです。あと、今、いただいておりますような、疑問、不安な点というのが他にもまだまだあると思います。

今日、ここにお越しいただいた皆さんだけでなく YouTube の方でどれだけ今質問が出ているかわからないですけども、そういった声というのもできるだけたくさんいただきながら、そしてそういうご不安、疑問点に対してどういうことができるかということ。それを我々しっかりと考えていくのが責務だというふうに思っているところです。お気持ちはすごくわかるんですけども、しっかりとどういった対応ができるかというのを検討しながら進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。

(保護者 8)

- ・ 1 年生に長男が通っていて、その長男は選択制が始まった最初の学年で、今、住んでいるところ未来学園も近いし、勝山小学校もこちらがちょっと遠いかなっていうぐらいですごい悩んだんです。どちらも説明会参加させてもらって、勝山小学校の説明会が 2021 年の 10 月 7 日にあったんです。そのときに最初に教頭先生が説明してくださったんですけど「皆さん良いニュースです」ってすごい教頭先生が喜んで言ってくれはって、何かなと思ったら、「向こう 9 年間、勝山小学校は存続が決まったんです」っていうふうに言われたんです。どっちに行こうかなってすごい考え悩んでたんですけど、それを聞いたら、絶対長男は卒業までこの学校にいられるって思ったので決めました。なのに、1 年半経ってこの統廃合の話が一気に進んでるっていうのが非常

に不安で。

今、下の子が年少なので、このままいくと勝山小学校に1年間だけしか通えないんですね。何かスケジュールがタイト過ぎるんじゃないかなと思って、その9年間存続するって言ったのはいったい何だったのかなっていうのがすごい疑問で。意見というか希望なんですけど、もう少しこのタイトなスケジュールで進めるんじゃないかと色々な方たくさんいいご意見が出ていたので、それを踏まえて進めていただけたらいいかなという意見です。お願いします。

(区役所)

- ・ 学校の説明会の時にそういった話があったというのを、すいません私ども存じ上げないんですけども、事実だけ申し上げますと、平成28年に勝山小学校を再編するという計画があるんですけども、計画を出して以降、残ることが決まったということはこれまで一度もないです。これが事実です。ただその間に、例えばその西生野小学校ですね、今、生野未来学園ですけどもこの未来学園ですとか、田島南小学校、ここが令和4年4月に再編実施するということが決定した、というようなタイミングがありましたので、ひょっとしたら向こうが決まったからこっちはなくなったというような勘違いがあったのかもわからないですが、そこ定かではないんですけども。

そういった形でこちらを選ばれた方というか、普通に進学校区として進学されてきた方で、先ほども選んで来ていただいているという声もありました。これ皆さん本当に今在校生しているお子さんご本人、保護者の方、皆さん本当にたくさん不安をお持ちだと思います。その不安なことに対してどういったことでその不安を解消できるか、できる限り小さくしていけるかということ、これを我々本当にしっかりやっていかないといけないというふうに思っています。例えば、昨年4月に再編した学校で言いますと、その再編した学校それぞれから先生を集めるという形で、先ほどの学級の数によって先生の数が決まるって申しあげましたけども、再編後の当初数年間は通常の数よりも多い教員を配置するような形で、その両校からの先生をできるだけ配置する。要はお子さんと一緒に先生も行くというような仕組みですとかそういったのをちゃんと考えていかないといけないと。そういったことは昨年の再編したところでやってますので、例としてはそういうのがあるんですけども、そういう不安解消にできる限り努める形でやっていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

(保護者4)

- ・ 質問とかじゃないんですけど、私も皆さん本音言ってるので、ちょっと本音を言わせていただきたいなと思います。7年前の説明会のとき私まだここに住んでなくて、でもずっと私はここで生活をしてきて実家も勝山北にあるんです。そのときに区役所の方たちは距離のこととか質問が出たときに「大丈夫です2キロないので、もう東桃

谷でいけます」ってめっちゃ言ってはったので合併されても東桃谷でそのまま桃谷中学校、その時は勝山中学校なんですけど、上がっていきけるのならここに帰ってきたいなっていうのでここに帰ってこさせていただいたんです。

うちの上の子は今年4月から、1年生になるんですけど、小学校も統廃合のこともあったので悩んで、途中で統廃合されるぐらいなら東桃谷へ最初から行った方がいいんじゃないかとか、でもやっぱり地元勝山が好きやから勝山に入れたいっていう気持ちとかもすごい葛藤して決めたのに就学通知が届いたその1ヶ月後とかに「いや、やっぱり未来学園も、ちょっと検討するからもしかしたら未来学園になるかもね」みたいな手紙が届いたんです。ちょっと保護者の気持ちとしては、「いやそれはマジで聞いてないよっ」ていう、ここまで悩んだのは何だったのかなっていうのとか新たな不安も生まれましたし、先ほど小学校は特例で好きな方に行けるかもしれないけど、中学校は違うよってなったときに、小学校は希望してお友達の多い東桃谷小学校に行けたとしても、もしかしたら選択制で中学校は未来学園に行かなければいけないかもしれないっていう不安。先ほど保護者の方たちが皆さん言ってはる、そういう不安をやっぱり抱えてこれから何年も生活していかないといけないのかなあっていうんで、とかがやっぱり今すごく不安です。

先ほど私、質問させていただいた、勝山をみんな東桃谷小学校の校区にして未来学園を検討する方は選択制で行ってもらったらっていうことを、それはあまり今は検討してないとおっしゃってたんですけど、やはりそれも検討していただきたいなと思います。勝山の地域って本当にすごく良い地域なのでここで分断されてしまうっていうのは、ちょっと寂しいというか悲しいっていう気持ちもたくさんあるので、このまま地域は残していただきたいなって思っています。私がすごく感じただけなのでそれは違うよっておっしゃると思うんですけど、勝山小学校と東桃谷小学校の再編なのに、勝山小学校の地域だけが分断される、東桃谷の子たちはそのまま上がっていきけるのに勝山小学校の子だけこうやって悩まなあかんっていうのはどうなのかなっていうのが本音もあります。

なのでやっぱりすごく良い地域なので、もうその統廃合やっていかなあかんっていうのもわかるんですけど、やっぱり地域としてはそのまま残していきたい、っていうのがきつとこの勝山小学校の地域に住んでる方たちの意見じゃないのかなあと私は今日ちょっと聞いてて思ったので、やっぱりもう一度勝山の地域の子たちは、同じ小学校に全員上がらせて、やっぱりそれでも登校の安全が心配だっていうご家庭はせっかく選択制なのだから選択制で行けるようになればいいんじゃないかなと。この始まったの2年目なので、2年間のデータしか知らないんですけど、小学校とかも抽選になっているところも少ないですし、子どもの数も変わらないのであれば、選択すれば、そのまま希望する学校に行けるんじゃないかなとは私は思っています。

今回すごく不安だったのは、今年、桃谷中学校だけ空き待ち抽選があったんです。っ

てことは、私達の子どもたちが大きくなったときも空き待ち抽選で、東桃谷小学校に行けたとしても、やっぱり中学は違うところになってしまうんじゃないかっていう不安がとても大きいので、そういう不安を抱えながら生活していくのは保護者的にも地域的にも、子どもの的にもすごく負担やしストレスやし、聞いてたのと違うやんかっていうちょっと憤りというか怒りっていうのもあるんだよっていうのもわかっていたきたいなと思います。やっぱり勝山の地域をなくさないでそのまま同じ小学校に上がっていけるような検討をしていただきたいなと思います。

(区役所)

- ・ 勝山小学校の区域全員を東桃谷っていう考え方、今のところ区役所としてはないという形は先ほど言いましたけども、これも皆さんからやっぱり校区分けるんじゃないかって、全員一緒に行った方がいいというご意見が多ければ、もちろんそれはそういったのも入ってきます。ですので、またその辺はたくさんそういったご意見をいただけたらというふうに思いますのでよろしくをお願いします。

(保護者4)

- ・ ありがとうございます。

(保護者1)

- ・ 先ほど質問させていただいた方で、ちょっとまた新たに2点、こちら意見なんですけれども、今ここに来られている方でいうと、多分20世帯ぐらいになるかなと思ってまして。今、YouTubeの再生数とか質問の数がわからないんですけども、内容についてはかなり大きな内容になってますのでやっぱり皆さん強い意見をお持ちかなと思ってまして。今、勝山に通ってる児童数が600、13ページにあるようにこれから未就学児と在校生が合わせて600ぐらいいるということ、多分、世帯的には400とか300とかそのぐらいなのかなと思うんですけども、その世帯全てに対してですね、どのような思いを持たれているのかという例えばアンケートとか、統廃合について賛成反対なのかも含めてですね。アンケートをとってその内容を公表した上でまた改めて事業を検討していただくような場を設けていただけないかなという意見がまず一つございます。

もう一つが先ほどの事業スケジュールの中で、今年度いっぱい案を作って、教育委員会に慮るという話だったかなと思うんですけども、今もう1月の末になってまして、2月の末に説明会をされるとなると営業日でいうと20営業日しかないかなと。そうするとですね、先ほどのアンケートの話であったりとか、この場の意見を集約して反映する時間などが十分確保できないのかなという印象を受けました。

大きな事業なので予算とか他の事業への影響とかなかなか動かしにくいところある

かなと思うんですけども、今年度末に案を立てるということを第1の目標とするのではなくて、今このように意見がたくさん出ている内容について全員が納得する案を作るのは難しいと思うんですけども、なるべく多くの方が納得できる形にブラッシュアップしていくぐらいの期間を設けていただいて、なるべく多くの皆さんが納得できる案を作ることを目標として事業スケジュールを立てていただけたらと思います。

(区役所)

- ありがとうございます。まず全世帯アンケートをとってという話なんですけども、それにつきましては、今日のご案内については学校に在籍している児童は学校を通じて手紙を全てお配りさせていただきました。未就学児につきましては区役所から各家庭に案内を送らせていただいたところです。その上で今回、初めての取り組みになりますが、このYouTube ライブを使って同時配信しながらできるだけたくさんの方にご覧いただける形をとらせていただいているところです。いろんな不安なところはあると思います。通学に対する不安ですとか、途中で学校が変わることによる児童の心理的な負担ですとか、そういったのはたくさんあります。そういったところはしっかりと学校適正配置検討会議という中で、どういう対策をとっていきますよというのをご説明しながらというふうにはなっていくんですけども、まず、今日の論点としては、校区をどこで分けるかという、ここの部分についてのご意見をできればいろんな形でいただけたらと思っているところです。

ですので、先ほどABCのパターンしかお示しはしておりませんが、ご意見いただきましたように分けるんじゃなくてやっぱり全体が同じ学校に行った方がいいといったご意見もあると思います。もしくは、そのABC以外の線というご意見もあるかと思えますし、皆さんお住まいの地域、お住まいの場所もそれぞれ違いますし、(校区の)外から選んで来られた方もしくは中でも選択制が始まりましたのでどちらに行こうかというので悩まれた方、いろんな方いらっしゃると思いますのでそれについては、意見を聞いて案を作りたいと思っているんですけども、改めてアンケートを取るといよりも、今日、説明させていただいた中でご意見をお伺いして、あと地域とも話をするんですけども、その上で、区として案を作りたいというふうに思っているところです。

あとスケジュールに関しましては、このスケジュールでいきますと実際には余裕を持ったスケジュールになっております。余裕を持ったスケジュールになってはいるんですけども、これを決めるのを後ろに持っていけば持つていくほど、決まってから実際にやるまでの期間が短くなっていきますので、できるだけ早く案を作って正式な計画としてしっかりした期間で準備をしていきたいという形で思っています。これはそういう思いで作っているスケジュールになっていますので、今のところはこういった形です。

(保護者1)

- ・ そうですね、多分、皆さん同じことを心の中で思われたと思うんですけど、やっぱり決まっちゃってんのかってところがすごく今、印象としてあったので。

今回は一応、説明会ではなくて意見を聞く場というふうにプリントには書いてあったかなと思うので、そこはやはりちょっと私どもの意見を聞いた上でしっかりと進めていただきたいなと思います。

令和8年度の4月に開校というのは、後にずらさないイメージなんでしょうか。先ほどその案を作るのが後になればなるほど、検討する時間が短くなるっておっしゃいましたが、後になったら開校を後にしたらいいんじゃないかっていうところもあるかなと思うんですけども、そこについて今の発言の意図をちょっとお聞きしたいのが一つ。もう一つが、ごめんなさい、まず一つ目ちょっと、お願いしていいですか。

(区役所)

- ・ はい。決まってるのを言ってるだけという映りになってしまったということでそこは申し訳ないです、すいません。あくまでも学校の小規模校は統廃合して適正規模にしないといけないということ、これは決まっています。ただ、今は計画案を作る前の段階です。あと、計画を作るのを後ろにずらして、その分、実施も後ろにずらしたらいいんじゃないかといったご意見かということ。

これにつきましては、本当に恐縮なんですけども、後ろに延ばせば延ばすほど1クラスしかない状態の子どもたちが増えていく期間が長くなっていくということで、できるだけ早くやりたいというのは本心です。できるだけ早くこの小規模な状況を解消してクラス替えができる、いろんな友達の声が聞ける、考えが聞ける、そういう環境を作りたいと。それが主たる目的になりますので、ここはどんどん後ろにずらしていくというのは、これは我々としては、それは良くないというふうな思いを持っています。

25年前には各学年2クラスあった状態がもうここ10年以上、1クラスしかない状態というのが続いてきて、この再編の話というのは平成20年代、早い段階から出てきていたのに進んでこなかったという状況。これを何とかしたいというところがありますのでちょっと語弊がある言い方になるかもしれないですけども、そういったことで我々の思いをご理解いただけたらと思います。

(保護者1)

- ・ ありがとうございます。一個人として今の意見に対してさらに意見させていただきますと、重きを置くバランスでいくとですね、1年延びることの方が「いや」よりも、みんなが納得できへん形で進む方が「いや」の方が重いかなと個人的には思いますので、言い方悪いですけど平成28年から始まっていっつも進んでなかったような事業なので、1年ぐらい延ばしてもそんな変わらへんのかなっていう、個人的に乱暴な意見

でいくとそういう意見でございますのでちょっと、その点はいち意見としてお聞きいただけたらと思います。

もう一つ、各世帯のアンケートをとってほしいなって話あったんですけども、アンケートをとっていただきたい意図としましては、未来学園に行きたい人間と東桃谷小学校に行きたい人間がどれだけいて、線引きをする際にどれだけの人間が思っているところと違うところに行くことになるのかっていう具体的な数値を出すためにも、各家庭のアンケートが必要かなと思っていますので、案をちょっと後にしていただきたいなっていうのはそういうところの検討もまだこれから詰めていっていただく余地があるんじゃないかなと思いますので、意見の一つとして申し伝えます。以上です。

(保護者3)

- ・ すいませんもう時間も来てるんで端的に。案を今から作成するってあるんですけど、これが案から実行に移るのは教育委員会が承認した段階でもう決定事項になるってことですか。

(区役所)

- ・ 教育委員会が承認した時点で、大阪市としての計画になります。そこから具体的に動き出すという形になるんですけども、ただ、我々行政ですので、その間に例えば、実際にこの工事をする場合に規模が大きい改修をしないといけない場合は工事の契約をするときに議会の承認が要るとか、段階ごとにいろんな手続きはあります。ただ、この教育委員会の承認を得て計画となった段階で、こういう再編が進んでいくというのは決まるというふうにご理解いただけたらと思います。

(保護者3)

- ・ また教育委員会からも説明があるってことですか。

(区役所)

- ・ この計画案を教育委員会に説明するのは我々が説明することになるんです。教育委員会から承認を得て計画になるので、またその計画としての説明も我々がしていくということになります。

(保護者3)

- ・ 学校のことやけど教育委員会は我々の意見は直接聞かんと、行政通じて教育委員会が承認するっていう仕組みなんですか。

(区役所)

- ・ もちろん今日いただいているご意見ですとか、これまでいろんな説明会でいただいているご意見も含めて、教育委員会と全てそういった内容は共有はしております。その中で教育委員会ですっきりと対応を考えないといけないという部分、特に学校に関する内容という部分が非常に大きくなるんですけども、そこはもちろん我々区役所ができるものではありませんので、教育委員会と我々と学校とで連携して、中身を検討していくという形になっていきます。

(保護者3)

- ・ もう一点だけね。さっきから複数学級がすごくメリットっていう形で言ってるんですけど、うちの子単学級ですごく満足してるんです。多分、今の1年生もそやし3年、今のね、在校してる子たちも多分、勝山小学校ですごく満足してるんちゃうかなと思うので。

この勝山小学校は単学級のメリットがすごくあると思うんですよ。縦割り学年ね、本当に6年生の子も。学童いってても、すごいうちの子いきいきでも優しいって言うし、そういう良さもこの地域にはあると思うんですね。で、やっぱり心配なのが東桃谷小に仮にこのまま令和8年で決まったら、6年ときにいきなり今まで行ってた子たちと違うクラスになってね、勝山小でクラス替えを経験せんまはずっといく中で、6年生で不適応を起こしたりすると思うんですよ。本当に。メンタル、うちの子も弱いので、そういったところもやっぱり教育委員会に直接意見できる場を持つべきだと思うんです。それをまずしっかりしてほしい。だから勝手に、まちづくり課が行政から教育委員会って、「はい、教育委員会承認」みたいな。そしたらもう僕らの意見、入らないので。やっぱり委員会に直接意見が言える場を設定してほしいなというふうに思います。

今、ネットで見させてもらって学校配置適正化の推進のための指針に則って動いていると思うんですけど、これ①から⑥まであるじゃないですか。勝山小はね1も2も3も4も5もクリアしてるんですよ。唯一7学級から11学級まで、ここに当てはまってる。⑥に当てはまってるだけなんです。この説明なかったと思うんですけど、⑥のところについては慎重にしなさいって書いてるんですよ、ここの指針では。だから勝山小学校は、他の統廃合したところとまた状況違うと思うんですよ。令和2年4月改正の大阪市教育委員会が出してる、大阪市小学校学校配置の適正化の推進のための指針というところでこの⑥については慎重になってあるので、それにしてもちょっと杜撰な管理スケジュールやなと思います。なんでこの年度末のときにこんな学校再編の説明会を持ってるのか。普通やったら、もうちょっと早いと思うんですよ。なんでこの時期になったんですか。

(区役所)

- ・ はい、まず教育委員会の意見を言える場ってということで自己紹介あまり細かく申し上げませんでしたけども、私も生野区役所の職員ですけども教育委員会も兼務する形になっていますのでこういった場で説明をさせていただいていますので、教育委員会ともしっかり連携してやっているという部分があります。

あとこの説明会のタイミング。これにつきましては、あえてこの時期を選んだというわけではございませんでして、これは本当に皆さんには、自分らは関係ないやんけという話にはなるんですけども、この勝山小学校の再編の話というのが具体的に地域の方とも話をしだしたのが昨年6月です。そこから何度か話をさせていただいていろいろな地域の方だけじゃなくて話をしていく中で、直接保護者の方の意見を聞くのが大事じゃないかというご意見を頂戴したところです。

そういったことで今回、日程も含めて調整をして、できるだけ早く案内してたくさん参加いただけるようにということを含めて設定したのが今日になったということです。意図的というわけではございませんのでよろしくをお願いします。

あと、指針をご覧いただいたということで、その条例で決まってるという部分ありますけども条例には細かくは書いてないです。条例は、適正規模を下回る学校は適正規模にしないといけないということが書かれています。その下に、おっしゃっていただいた指針とは別で規則というものがあまして、その規則の中に指針とほぼ似たようなことが書かれております。

区分1から5という区分がわかれているんですけども、区分1から5は、最短のスケジュールでやらないといけないというふうに規定されています。区分の6については、その児童数の状況とか推移を見て検討することということになっております。だから令和8年4月でいいのかという話はちょっと置いときまして、最速でいきますと、例えばですけども、今から東桃谷小学校の教室を改修するとか、そういう手続きをやるともう少し早くということになってくるんですけども、そこは、実際、区分6ということもありますので生野未来学園と東桃谷小学校に分けるというのを区として考えているところですので、一定余裕を持った形で、今回、話をさせていただいたという経緯になっているところです。

(保護者3)

- ・ ありがとうございます。本当にね、今いてる子とこれから入ることが決まってる子、この子たちの経過措置とかね、そこは汲んでもらいたいなと。やっぱり子どもたちに与える影響、すごく大きいと思うんですよ。単学級ですつといてる子たちがやっぱりね、この子らと一緒に卒業できると思ってると思うんですよ。今うちの子もね、まだ言ってないので。それがみんなと一緒にひょっとしたら卒業できんかもわからへんっていうのを伝えなあかんのは親やったり先生やったりすると思うんですよ。多分、

教育委員会も学校の先生聞いたら、それは酷やっけと思うんですけど多分。行政のところでもう決まっちゃってるんやろうけど、そこの時期、もうちょっと丁寧に。

最短というのもあるかもわからへんけど、何をもって最短なんかですよ。今の子どもたちに影響がない値で最短というふうにするんやったら、やっぱり在学してる1年生2年生でもう入学が決まってる今の6歳を迎える子たち、そのあたりはしっかりと考えてもらいたいです。きょうだい関係も含めてね、中学校に上がる段階でもやっぱりみんなと小学校一緒に6年間過ごした子らと別になるとか、そういうのはやめたってほしいなっていうのは思います。

(区役所)

- はい、ありがとうございます。時期の問題というのは実施する時点と、計画作る時点で何年生もしくは何歳かということで非常にそれぞれ学年、年齢によって違いがあるというのはもう重々おっしゃる通りだと思いますのでその辺をできるだけ本当に不安のないようにと思います。それとあと、本当に勝山小学校、校長先生はじめ、今の小規模のいいところを最大限に生きる形でやっていただいているんだと思います。これ本当に学校にも我々感謝するところです。再編するにあたりましては、今の小規模校として取り組んでいただいている、長所、いいところですね。それをできる限り新しい学校に引き継ぐ形というのを我々目指してやっていきたいと思っています。

あと、本当に子どもたち、これまでの再編したところの児童と保護者にアンケートというのを教育委員会で取ってるんですけども、子どもたちは、やっぱり慣れるのが早いです。慣れない子もいるのは事実ですけども、ほとんどの九十何%の子どもたちがすぐに慣れたというようなアンケート結果が出てます。

ただ、慣れない子もいるというのは事実としてありますので、再編のタイミングで、例えば、スクールカウンセラーですね、心理的なそういう相談を受ける。そういった人をこれまで以上に手厚く配置する、ですとか、そういった対応というのもちろんとやっていかないといけないというふうに思っています。

その辺も含めて、今、本当にたくさん意見いただけているので、こういう話もできているんですけども、今後、しっかりそういうのもちろんと皆さんに伝わるような形でオープンにお示ししていきたいと思っていますのでよろしくお願いします。

(保護者6)

- 何度もすいません。12ページの資料の一番上のところを読んでいただくと、勝山小学校と東桃谷小学校を再編と書いてあるんですね。今のこの説明会の大前提として、勝山小学校の校区の子どもたちだけを生野未来学園に分断させようとしているこの意図は何なんでしょうか。東桃谷小学校の校区のお子様であっても、現状として、猫間川筋を境に、勝山小学校区のお子さんと東桃谷小学校のお子さんがいらっしやると思

います。その場合、生野未来学園に通う方が近いご家庭がたくさんある。ということは区役所の方ならばご存知だと思えますけれども、そこをなぜ勝山小学校の校区の子どもたちだけを分断させるような案をご提案されてるのでしょうか。

(区役所)

- ・ この勝山小学校でいきますと校区の形が南北に非常に長い。他の校区でいくと東西に非常に長い校区ですとかいろいろあります。極端に言いますと、ちょうどその校区の中心に学校があればいいんですけどもそういう形になってないというこれはまず実情としてあります。

今回はこの再編の目的が、繰り返して恐縮なんですけども、小規模校を適正規模にするためというのがあります。ですので、今、ご質問いただいたものにストレートにお返しするとすれば、東桃谷小学校もいわゆる小規模校ですので、東桃谷小学校の校区を他に切り分けることによって、そこから子どもたちを減らすということは我々の提案としてはなかったところなんですっていうのがストレートなお答えになります。

ただ、本当におっしゃっていただいているように、校区、いびつなところがたくさんあります。これも細かい説明になるんですけども、校区を決めるのは区長の権限なんです。教育委員会ではないんですけども、校区だけを変えるという場合は当事者である保護者の方、住民の方、皆さんから要望があって校区を変更するという形をこれまで取っているところです。要は、区役所としてここをこっちからこっちに変えるというのが、今回の小規模であるっていうこと以外となるとそういうことがないので、例えば、ここの校区をこっちに、ここの地域をこっちの校区に変えたいというような話があるときには皆さんからの要望を受けて区役所として検討するという形になってきます。

今回は勝山小学校と東桃谷小学校、小規模校を適正規模にするために両小学校を統合しようというふうに考えている中でこれまでにいただいている意見として、やっぱりもと西生野小学校、今でいう生野未来学園。それを横目を通り過ぎて東桃谷まで行くっていうのはやっぱりおかしいんじゃないかっていう声ですとか、そういったのをいただいてきたので、今回、こういう話をさせていただいていますけども、こういった中で、やっぱりABCあるけども、全体で東桃谷に行きたいという意見が多数出てくるというようなことがあればそれも含めて我々検討するという形になります。

(保護者6)

- ・ 安全面とか距離とかというお話が、この説明会の時間中に何度も出てきてるんですけども、距離ということで言えば生野未来学園の統廃合された小学校、生野小学校とあって結構、坂の下の方からずっと登ってこないといけないイメージなんです。生野南小学校もかなり遠いと思います。病院の前とかに朝の時間帯とかお手伝いの方

が立たれて安全面をサポートされてる姿も見ますのでかなり遠い距離を通学してきているのではないかなと思います。それから比べると勝山小学校区の子どもたちが東桃谷小学校に通うことの方が距離としては近いように思うんですけども、実際の距離感としてはどうなのでしょう。

(区役所)

- ・ まず、今、例でありました生野未来学園。ここで言いますと、一番遠いところが旧の舍利寺小学校の校区になります。そこから大体1.7キロ弱。厳密に言うと1.65キロなんですけども、それが一番遠い距離になります。今回の勝山小学校の区域の一番南、寺田町側、こちらから東桃谷小学校の正門まで。猫間川をまっすぐ通っていくとそんなには、そんなにはと言っても1.6キロ以上にはなりますが。猫間川は車が結構通りますし、危険だということで今の勝山小学校の通学路をベースに、勝山通りの勝山歩道橋を渡って行くというルートを想定をすると2キロ弱。1.9キロぐらいになるというのが一番遠いところになります。

(保護者6)

- ・ ありがとうございます。あと、先ほどから単学級であるっていうところが非常に問題視されてるように聞こえてしまうんですけども、私、仕事で保育の方に携わっておりまして、保育所って小規模が結構人気だったりするんです。その利点としてはやっぱり1人1人に目が行き届いて1人1人の子どもの成長過程に合わせたサポートができるっていうところをかなり高く評価されている保護者の方がいるのは、現場サイドにいる者としては、実情としてすごく肌感で感じるんですね。

そのまま幼稚園であったり、保育園で5歳児さんまで上がっていただいて、小学校1年生に入ったときに、特に月齢の低い早生まれと言われるような1月から3月に生まれたようなお子さんをお持ちの保護者のかたは、4月生まれの子どもと一緒にいきなり小学校に入った途端に担任の先生1人しかいない、サポートしてくれる人誰もいない、成長に合わせたサポートなんて誰もしてくれない、ちょっとでも何か時間がかかる、手がかかるって言われるとグレーだね。グレーの子、ちょっと障害を疑われますよっていうような発言をされたということも実際に見聞きしている状況です。

そういう状況を、回避するという意味でも、しっかりと子ども一人一人を見るという意味では、単学級であることがすごくメリットのようにしか思えないっていうのが正直な気持ちなんです。表に書かれている利点っていうところの一人一人に目が行き届きやすい、学習の状況を把握しやすいというのがそこにあたることなのではないかなと思います。また、課題とされている音楽の合唱とか体育の集団競技ができない、リレーができないドッジボールできないクラス対抗の何か競技ができないっていうところなんですけれども、そういったことは日々の教育現場ではなく、運動会とか、何々音楽会

とかそういった大きな行事として東桃谷小学校と勝山小学校合同で、例えばどこかの会場を借りてやるとか、そういった方法をとればわざわざ統廃合しなくても、そういった経験っていうのを子どもたちにさせられるのではないかなというふうに感じます。

あと、教職員数が少なくて、同学年の担当教員による学年の指導方法の高め合いができないっていうのは、すいません、きついこと言うようですけども、ただの言い訳にしか聞こえません。指導方法の高め合いは、外部の教育研修受けていただくなどすれば十分にできると思います。大阪市の先生方同士集まって意見交換会する、研修会するっていうことをすれば、十分に賄えることだと思うので、一つの学校でそれをしようとする事自体が間違ってるのではないかなというふうに感じます。またクラス替えができない、人間関係の固定化というところですけども、先ほどお伝えさせていただいたような合同の行事を行うとかっていうことをすれば、子ども同士、顔知ってたら、親知らんとこで友達できてるんですよ。勝手に。習い事のどここの誰々くん、いや、何とか幼稚園の誰々ちゃんやねん。親の顔も子どもの名前も何もわからへんけど、なんか家帰ってきたら友達の名前聞こえるなみたいなことも正直あるので、そういったところはそういう行事を通して賄えることなのではないかなというのが正直な意見なので、お伝えさせていただきます。

(区役所)

- ・ ありがとうございます。今、いただいたようなご意見もちろん、教育委員会の中でそういった議論もあったかと思えます。ここの利点ということで書かせていただいていますけども、これだけじゃないこともたくさんあると思えます。ただ、やっぱりメリット・デメリット両方あるというのが事実として、なぜ適正規模という12学級から24学級というふうに決められているかといいますと、小規模は小規模のメリット、デメリットがあると。25学級以上の大規模校、これ市内にあるんですけども大規模校は大規模校でそれなりにメリットとデメリットがある。両方のメリット・デメリットをメリットに変える形で、いいようにやっていけるとというのが、適正規模と言われていきますので、ただ、いまのご経験からの意見というのは本当にこれまたきっちりと教育委員会の方にも共有してやっていきたいと思えますのでよろしく願いいたします

(保護者9)

- ・ 9歳、6歳、3歳の保護者なので、どっかで再編に関わってしまうと思うんですけど、単学級のメリットもあるだろうし、合併したことによるメリットもあると思うんです。けど、今の状況を見ると、みんなの心がついていけないんじゃないかなっていう、そういう不安は感じます。ただ、この校区を決めるっていうのは、今、答えを出さないといけないことなのかっていうところと、その学校選択制にしてもこの地域の方が答えを出している現状があると思うんですけど、今の時点でのその地域の子ども

の割合で勝山小学校を選んでも、生野未来学園を選んでもという割合と比べてこのABCで出てるんですか。

(区役所)

- ・ 割合では出しておりません。ただ、これも数字、どこまで正確に覚えてるかあれなんですけども、今、実際に勝山小学校区から生野未来学園を選択されてるお子さんがいるというのは事実です。もちろん未来学園の校区から他を選ばれてるという家庭もありますしそれはいろいろあります。あともう一つだけ申し上げますと、学校選択制、生野区では昨年からは西部地域でもやり出したんですけども、大阪市全体でいきますと平成25年か26年から入っております、学校選択制の今ちょうど検証というのを教育委員会がしています。選択制で校区外を選ばれてる理由というのが、やっぱり一番多いのが小学校で言うと登校の距離で選択されてるというのが多いというのは、これは事実として公表されてるところです。

(保護者9)

- ・ 割合というかこのABCで、その地域の方がもう答えを出してると思うので、この今の意見をここで聞くっていうことに意味があるのかっていうのがちょっと疑問に思うんですけど。

(区役所)

- ・ 決して地域の方と、ここでという具体的な議論というのは一切ございません。あくまでも校区、このいろんな点線を引いた資料はこれは地域の方にもお渡しはしておりますけども、いっぱいありすぎて議論ができませんので、今回、こういった形でABCというのも、我々がパターンとして考えるものを初めてお示しさせていただいたという状況です。

(保護者7)

- ・ 先ほど言ったように児童が増えるかもしれない、未就学児の方が増えるかもしれないということで2クラス以上になるんじゃないかっていう期待もあったんですけど、もしそうなった場合でも、2階建て3階建ての家に住んどって、1階建ての家にするみたいに小学校を言ったら、今、耐震でこんだけ2階3階の古い建物を言ったらもう1階のワンルームみたいなコストもかからんようなコンパクトな学校にするっていうこともできないみたいな感じですか。

(区役所)

- ・ はい、コンパクトな学校といいますか、要は小規模になっていくとそれを見直さな

いといけないという決まりになっていますので、コンパクトな形で維持していくというのは、今はないということになります。

それとすいません。先ほどの話とかぶるんですけども、小規模と少人数というのが、我々としてもよく混同するんですけども、少ない方が一人一人に目が届き届いていいという、小規模の最大限メリットを活かしていただいておりますけども、これは1クラスあたりの人数っていうものにもよってくるというのが教育委員会として、そういった説明をしていることはちょっと思い出しましたので。1クラスあたりの人数の話とクラス替えができる規模という話。そういったのがややこしいですけども別の議論であるということをご紹介だけ。

(保護者7)

- ・ 一番、不安に思ったのは、東桃谷小学校行きました、中学なるときに桃谷中学にいきたいんですけど、結局、定員があるから生野未来学園に行かされるって聞いても、今の感じで言うと小中一貫校なってるから、小学校1年から4年の教育と、5、6年と中1。中2、中3でホップステップジャンプみたいな感じで書かれてたんで、結局そういう感じでカリキュラムっていうかそういう学校の仕組みになっているのに、そこでやっぱり小学校6年やってた人がいきなりそっちに行かされても、多分迷うし、今、言われたように教育とかついていけないとか、雰囲気についていけないとか多分あると思うんで。

今、議論していけるっていうか、校区として割らんでいけるんだったら僕はその方がいいかなっていうのと、結局、アンケートもどれぐらいの世帯数でとるんかわからないですし、言うたら勝山北からしたら、結局、生野西のことはどうでもいいかなってなってるし、生野西にいてる人は、いやいやちょっと勝小校区に入れといてよってなると思うんで、その温度差は全然違うと思うんでその辺ってどうなんかなっていうのが疑問に思ったので言わせてもらいます。

(区役所)

- ・ 本当に最後におっしゃっていただいた、お住まいの場所によって、皆さんそれぞれ思いと違いますか、考え方に違いはあると思います。ですので、こういったABCですとかDとかですね、そういったのを伺いして、一番多いとか割合とかそういうので決めるわけではなくて、最終的には区役所として案を作るという形にはさせていたかどうかとは思ってます。

ただ、本当に地域関係なく、そういった全体でという声が多ければ、それはもちろん我々として尊重していかないといけないというふうには受けとめていくと思いますので、よろしくをお願いします。

(保護者 10)

- ・ 今、5歳の年中の子どもと今年4月から勝山の幼稚園に入園する子どもを持ってるんですけど、学区が勝山と東桃谷の議論が多いのですが、学区外に行けるのは何か考えられないのかなっていうのがありまして。

自分の家から一番近いのはもちろん勝山小学校なんですけど、次に一番近いのが聖和小学校になりまして、正直、あの東桃谷小学校に初めて来年小学校へ行かすので、調べたところ650メートルぐらいあったんですけど、ランドセルや重たいものを持って、大人で15分ぐらいかかるって書いてあったんですけど、子どもがまっすぐ15分歩いて学校行けるかなっていうのもありますし、最近、幼稚園からメールがよく来るんですけど、不審者がよく現れるから気をつけてくださいっていうのもちょっと不安があつて。

それだったら勝山小学校がもしなくなるって話があるのであれば、家から一番近いところは正直、桃陽小学校も自分の家からしたら大きい道を越えることもなくまっすぐ行ったりとかもできるので、仕事してるので送り迎えがなかなか小学校までできなくて、近いところっていうので学区外で区も違ってくるので難しいと思うんですけど、そういうことも考えられるのであれば嬉しいかなって意見です。

(区役所)

- ・ ありがとうございます。今、おっしゃっていただいた通り学校選択制は、生野区内の学校はどこでも希望することができるんですけども、区をまたぐという希望はできないということになっていまして、そこは本当に申し訳ないんですけどもご理解をいただけたらと思います。

あと、参考に申し上げますと、環状線を挟んで天王寺区側でいきますと、規模は大きい、小さいあるんですけども、どこも非常にたくさんにマンションがどんどんできてますので区の中でも選択制での受け入れとかはなかなか厳しい状況というような話は聞いたことがあります。ただ本当に申し訳ないですが区をまたぐのはちょっとできないということです。

(保護者 2)

- ・ 学区のABCあったと思うんですけど、連合の振興町会さんとかまちづくり協議会とかで地域活動やってると思うんですけど、そういったところの意見とかって何か聞かれてるのかと。聞かれてる場合はどういう意見をおっしゃってるのかというのと、例えばBとかCであれば、10年、20年後、連合振興町会自体の存続って問題が出てくると思うんで、その辺がちょっとどうなのかなっていうと、あと、今日、来てはる皆さんほとんどがAとかBとかCではなくてDって全部が東桃谷っていうそれで

あれば町会と違ってというのはあんまり影響ないかなと思うので、その辺がちょっとどうなるのかなっていうのを教えていただけたらと思います。

(区役所)

- まず、今回の学校再編、校区の再編に伴って、地域振興会、連合ですね。そこを何か改変するといったことはないです。あくまでも自治組織になりますのでそこについて我々からどうのこうのということは申し上げられないというのが一点あります。また、まちづくり協議会の方に行ってこのABCという形ではお示しはしておりませんが、この点線が入った地図、こういったのを示した上で校区の編成、分けるという話を考えたいという話はさせていただいており、地域からもこれまでに校区のあり方自体を見直した方がいいんじゃないかという意見をいただいたので、やっと具体的な議論、検討に入るということはありません。ただ、それで皆さんがよしというふうになったわけではありませぬのでそういったご意見もありました、ということです。

(保護者2)

- 例えばC案だったら20年後30年後であれば、その東桃谷小学校区の子と未来学園校区の子との交流っていうのがなくなってくると思うんです。要は一つの振興町会で二つの小学校区があって、そういう交流もなくなるのに地域活動として、勝小の跡地を使って盆踊りをするとかってやっても、人が集まらないとか片方に偏ったりとか。実際、災害が起きて避難所を開設するとき顔見知りでない人がいっぱい、今でもあんまり顔見知りがいないのにさらにそういう顔見知りがいない人が増えるっていう想定ができるのに地域の人はOK出したんかなって疑問があったんです。

(区役所)

- はい、ありがとうございます。決して地域の方から校区を分けるとか、そういったことに了解を得ているとかそういったことではございませんので。
ただ、分けるとした場合にどこで案を設けるかというのを、やっぱり小学校の話ですので、まず当事者である保護者の方にご意見を伺ってという形で開催させていただいております。

(保護者1)

- 先ほど町会の話が出ましたので。今回の避難場所としての勝山小学校のあり方について結構大事な話かなと思うんですけども。勝山第6町会に所属してるんですけど、おそらく6町会の方もまだこの話ってそんなに詳しくないとか、下手したら聞いてんのかなという認識でおりまして、そこについての意見も聞いていただかないといけないかなと思うんですけども、そのあたりスケジュールとして今どうお考えなのか

なということをお願いいただけますか。

(区役所)

- ・ 地域の町会の方ですね、避難所防災の観点ということでよろしいでしょうか。まずこの資料で申し上げますと、防災のこと、資料の20ページに簡単にしか書かせていただいているんですけども、まず、この再編の計画を作っていくのと合わせて、地区防災計画、これの見直しを検討していただかなくては行けないと。地区防災計画は、地域振興会で作っていただいているので、計画をどうしていくかというのを、区役所の防災担当も一緒に入って考えていくというのが具体的な進め方になっていきます。

例えば地区防災計画で、6町会の方はどこに避難するっていうのが決まっていると思うんですけども、勝山小学校の校舎が非常に古いという課題がありますので、そのまま残せるか残せないか、残せない場合どうしていくかということ。それを今後、検討していくという形になってまいります。あと各町会といいますかまちづくり協議会の中でこういう話をさせていただいてますけども、広く説明会というのは今回のこの保護者の皆さん対象にというのが初めてになりますので、今後、計画案を作ってから地域の方も含めて説明会を開催させていただくという段取りで考えているところです。

(保護者1)

- ・ 具体的に言うと、大体何月ぐらいになる予定ですかね。

(区役所)

- ・ はい、なぜそんなに急ぐんだというご意見もありますけども、今、思っていますのは、できれば2月の下旬というふうには思っていますけども、今から1ヶ月しかありませんので、遅くとも3月にはそういった案を作って説明会という形をできればと思っています。特に跡地の課題というのが一番大きなところでありまして跡地の課題イコール災害時の避難所、防災の観点。そこをしっかりとやっていかないと行けないということ。

(保護者1)

- ・ ありがとうございます。もう1点だけお聞きしたいんですけども、先ほどのABC分ける案じゃなくて分けない案のD案、途中から可能性があるかなという話に、変わったかなと思ってるんですけど、多数の方の意見があったらという条件付きだったかなと思ってまして、最初にアンケートを取る予定はなかったっていうお話あったかなと思うんですけど具体的にどこで多数っていうのを判断される予定なんですか。今の説明会に来られてる方の意見で言うと、分けない方がいいんじゃないかっていう

意見の方が多いかなあという印象ではあるので、今の中では条件を満たしているような気がしたんですけども、その辺りお願いします。

(区役所)

- ・ 今日お越しいただいた方と、あと YouTube でご覧いただいている方、今回のこのABC、もしくはそれ以外という形で今日、1枚アンケートをつけさせていただいております。で、YouTube でご覧いただいている方も、Google フォームで意見をいただくような形をとらせていただいております。今日、お越しの皆さんと、YouTube でご覧いただいている方に投票というところとちょっと言葉に語弊がありますが、ここでAがいいかBがいいかCがいいかそれ以外がいいか、それ以外だったら何がいいのかというのを出していただきます。その出していただいたものをもとに我々として検討するという形で考えているところです。

(保護者1)

- ・ わかりました。多数っていうのを結構個人的な感覚になるのかなと思うんですけど、そのあたりの目標値というのはあるんでしょうか。難しい話かなと思うんですけど、

(区役所)

- ・ はい、本当に非常に難しいと思っています。例えば、極端な案が出てきて、普通に考えてこれが妥当じゃないかというものと拮抗しているけれども、それが過半数だった場合、本当は過半数いってるから極端な案を取るのかというと、やっぱり行政的な視点も含めて案を作らないといけませんので具体的に申し上げるとするのは非常に難しいと思っています。ただ、本当に7割8割ということになれば、非常に大きな我々としての判断材料になるかなというのは感覚論で申し訳ないんですけども。

(保護者1)

- ・ 厳しい意見を続けるようで恐縮なんですけれども、当然、そのアンケートの結果については私ども全員が共有できるように透明性というか、こういう結果が出ましたという公表をしていただきたいというのと、今、YouTube でご覧になっている方がどういう質問されてるかも全然見えないんですけどもそのあたりに対してどういう回答をするとか、先ほど Google フォームの回答率であったりとかについてもわかりやすく、ホームページ等でわかりやすいところに掲示をしていただけたらと思いますので、よろしく願いいたします。

(区役所)

- ・ はい、ありがとうございます。基本的には今おっしゃっていただいているようにで

きるだけオープンな形で情報を出していきたいと思っております。行政が本当にいつもいろんな場面でお叱りを受けるんですけども行政の情報が届きにくい、わかりにくい。これがないようにできるだけやっていきたいと思っておりますのでよろしく願います。

【Google フォームでいただいたご意見について一部紹介】

(保護者 1)

- ・ ありがとうございます。もう一つだけすいません、桃谷中学校を選択されたときにもしかしたら行けないかもって話あったかもしれないんですけど、中学校の旧の校舎が1棟残ってると思うんですけども、あそこの建て替えについては今どのようなお考えで。あそこを建てるときに教室数を増えたら、そこの受入れ数が増えるのか。そのあたりどうお考えなのかちょっとお聞きしたいです。

(区役所)

- ・ はいすいません、手元に資料がありませんので具体的な年数は覚えてないんですけども、桃谷中学校に関しては、当面、校舎の建て替え予定はなかったと思います。基本的に今まででいいますと、鉄筋コンクリートの建物になりますので、大体60年経ったところから、予算の範囲で順番に建て替えをしていくというのが大阪市のやり方でした。今は教育委員会で60年を80年に延ばすという計画を立てていまして、ちょっと正確ではないかもしれないのでイメージで申し上げますと、築何年以上経っているものは、これまで通り60年を目安に建て替えると。築年数が短いのは長寿命化という形で計画的な改修に変えていくと。

当然、強度の調査とかそういうのをした上で、80年使うように変えていくというのが、教育委員会で、今、進められている取り組みです。

桃谷中学校は、当面、建て替えの予定はなかったかとは思いますが、建て替えの時期が来た際には、今後、入ってくるであろう中学校の校区の中にいるお子さんの数をもとに作る教室の数っていうのが決められますので、選択制で他から受入れるための分を作るっていうのは今、教育委員会としては方針がありません。ですので、余分に作れるかということ、今、教育委員会から聞いている話では余分には作れないというふうなのがお答えになります。

(保護者 1)

- ・ ありがとうございます。

(保護者 1 1)

- ・ すいません、勝山小から東桃谷小学校に行って中学校から未来学園に行くってなった場合、未来学園は修学旅行が7年生と9年生であるって伺ってるんです。東桃谷小学校で、6年生で修学旅行に行って、未来学園の7年生でもっかい修学旅行に行っているんですか。なんかそれってどうなのかなと思うので。未来学園に編入されるっていう道はあまり得策ではないのかなという。

(区役所)

- ・ ありがとうございます。まさに保護者の方、お子さんもですね、一番気にされる部分。実際にそうなった場合にどうなるのかと。生野未来学園、今おっしゃっていただいたように6年生で修学旅行というのはいないです。1年生から9年生までの一つの学校としてありますので、修学旅行はないんですけども、通常の中学校でしたら、1年生のときに1泊移住がありますけども未来学園は7年生のときに2泊、1泊じゃなくて2泊移住という形で。

そういった小学校であれば6年生の修学旅行の分を、7年生で2泊移住にしたりとか、小学校6年中学校3年とは違う1年から9年までという。9年間の仕組みの中で、他の学校とできるだけ同じような泊を伴う行事ですとかイベント的なものをできるだけ同じような形で工夫されて決められてきたのが今の状況になっています。

あと実際には保護者の方の学校徴収金ですね。それを積み立ててやっているというのがありますので、実際にここは未来学園に行きますというような形になれば、また学校にご苦勞をおかけすることになるんです。実際に学校徴収金をどういう計画で移行していくかですとか、当然、保護者、児童へのフォローで、安全対策の面、あと、学校としてどう円滑に一緒になっていくか。細かい調整事がたくさんあります。本当に学校の先生方にはご苦勞をおかけするんですけども、再編して未来学園に行くとなれば、今、おっしゃっていただいたような6年生だったりそういうのがどういう形がいいかというのを具体的に検討していくという形になります。

(保護者 6)

- ・ 生野未来学園のことがよくわかってないので教えていただきたいんですけども、9年間の義務教育学校という概念の中に収まっている学校だということは知ってるんですが、実際に教科書とかって1年生の教科書、2年生の教科書という学年ごとの教科書あると思うんですけど、そのあたりのカリキュラムとかっていうのは、私立の中高一貫校みたいに先取り先取りで勉強していつてみたいなことになるのか、それともゆっくりゆっくり進んで、例えばちょっと他から転校してきて、もうこれ前の学校でやった、まだこんなことやってんみたいなことになってしまうのか、そのあたりのカリキュラム制ってのはどうなってるんですか。

(区役所)

- ・ はい、まず教科書については同じ教科書になります。義務教育学校と言いますのが平成28年に法律が改正されてできた新しい学校の種類になります。それまで、いろんなところで小中一貫校と、小学校と中学校を連携して教育効果を高めていくという取り組みが全国的に始まりまして、それをよりもっと何か効果的にやる方法として義務教育学校という小学校でもない中学校でもない1年生から9年生までといった義務教育学校と。

ただ、説明の中で申し上げましたけれども、学習指導要領というもので小学校、中学校、こういうのをやらなきゃいけないというのを決められております。それは最低どこも同じようにやらないといけないと。大きな違いといいますと、小学校も中学校も教員が同じ組織の人間としていますので、乗り入れ事業と言いますか、中学校の先生が小学校に行って教えるですとか、小学校の先生が例えば中学校、後期課程っていうんですけどそこで、学び直しのことをやったりとか、そういうのがやりやすくなるということがまず申し上げることとしてあります。

義務教育学校は小学校と中学校の両方の免許を持った教員を充てないといけないというふうに決められています。ただしこれはいっぺんにやるとどこも義務教育学校が作れませんので、当面の間はそうじゃなくてもいいということが法律の附則という部分で規定されています。ただ、その両方の免許を持っている教員をどんどん充てていくことによって、そういう1年生から9年生までを全部見れるようになっていく。あと、これも全国の自治体でどこまで進んでいるかわからないですけども、学年のカリキュラムの入れ替えというのがやりやすくなるというような形はあるらしいんですけども、未来学園はまだ再編して新しくできたところですので、今は新しい学校どうししっかりと機能していくかというところの重点を置いてやっていただいています。

他の自治体でもそういうカリキュラム入れ替えですとかそういうことを具体的にやっているかというのまでは、二、三年前に教育委員会に聞いたときには、具体的にそこまでいってるところはまだないという話でした。ただ、今時点はどうかわからないです。ですので、私立の学校みたいな形かというところではないんですけども、特色を持った取り組みを進めようとしているところです。

(保護者6)

- ・ 小学校と中学校の教員免許を持った方ばかりを今後、順次行っていくということなんですけれども、小学校の教員免許を取得するのと、中学校の教員免許もしくはその中学校ってなると、科目ごとの教員免許が必要だというふうに認識してるんですけども、そのあたりを両方持った方を充てていくとなると、先ほどどこかの資料にあった団塊の世代が抜けて若い先生、経験年数の低い先生が増えているということも問題視されているようなところがあったと思うんですけども、小中両方の免許を持った

方を今後ってなると、やはり今、経過措置としてされている方々というのは、既にもう大学卒業して何年も経ってる方だと思うので、より若い先生というか経験年数の浅い先生が増えてしまうのかなってというような印象を持って、既に持っておられる方もいらっしゃると思うんですけども、今後、そういう両方の免許を持っている方を増やしていくとなると、やはり経験年数の方が浅くて、より子どもたちに対するケアっていうところ、学習を教えるというところは新しいものを教えていただけるかもしれないんですけども、そういった人間的なケアの部分っていうのはおろそかになっていくのではないのかなってところが気にはなるんですけどもそのあたりはどのようにお考えでしょうか。

(区役所)

- ・ 小学校中学校両方の免許を持っている先生というのが、これも個人的な感覚ですけど結構いてます。これもデータが古いですけども、この義務教育学校の法律でそういう仕組みができたときに私が聞いた話として、大阪市の小学校中学校の先生方、先ほどの小学校で5,600人程度、2年前で中学校がちょっと何人か忘れましたが、両方合わせた全体の中で、2割から3割の先生は両方の免許を持っていらっしゃるというのがあります。

年代別にどうかというような把握はしておりませんが結構いらっしゃいます。あと、今は両方免許を持った教員じゃなくてもいいという特例ですけども、これがいつまで続くかというのは、期限は明記されてないので、今時点ではわかりませんので大阪市としても、どういう計画でそこに教員をはめていくかというのは今のところは方針を我々は聞いておりませんので、急激に何か変わるかというところではないのかなというふうに思っています。

(保護者6)

- ・ 経過措置期間の中で中学校の教員免許しか持っていない方が、義務教育学校のいわゆる小学校1年生の担任になることっていうのはあり得るのでしょうか。

(区役所)

- ・ それはないです。

(保護者6)

- ・ ありがとうございます。

(保護者7)

- ・ 今すぐわからないと思うんですけど、結局この区割りで言うAとかBとかCで緑に

なってるところから、生野未来学園に行ってる児童って大体何人ぐらいいてるんですか。

(区役所)

- ・ 今現在で何人かというのは把握しておりません。申し訳ありません。学校選択制で始まったのが今年度の入学の児童からですので、今年度入学の児童と今度の春に入学する児童が何人行ってるかというのはちょっと出せるかどうか一旦検討したいと思います。どうしても個人特定されないようにというのが非常に難しいところとしてありますので、エリアごとの人数で出せるのか出せないのか、出せないんだったら全体でどうなのかとかその辺は考えたいと思います。

(保護者7)

- ・ 多分、個人情報というか、ほんまに生野未来学園が近いからとかその学校がいいからって行ってる人がおるんやったら、多分、僕が言ってることは反対意見になると思うんで、それが全てじゃないと思うんですけど。やっぱそういう意見もいろいろ含めてちょっとほんまに考えてほしいなど。

(保護者1)

- ・ このアンケートフォームなんですけれども拝見したらどこで区域を分けるのが良いですかという質問に対して、ABC、先ほどのABC+Dのどちらでも良い。その他ってなってるんですけれども、私としては校区の変更なしが一番出したい意見なのにこれでいくとちょっと不利かなど。

今のこの話を聞いていないと、ここのどちらでも良いがDなのかなとか、その校区変更なしは選択肢としてはないのかなっていう、ちょっと不利なアンケート方法になってると思いますので、これを集約して決めていただくのはちょっと私に対してちょっと不利なのかなと思いますので、できたら先ほどの方もおっしゃいましたけど世帯ごとにアンケートをしっかりと取っていただいた方がより正確なのかなと思いますので、これを基に検討して次に進むっておっしゃるならちょっとそこが引っかかりました。

(区役所)

- ・ はい、ありがとうございます。ご意見、ごもつともだだと思います。本当に我々もそうですし皆さんもそうだと思いますが自分たちの意見で決まってしまうっていうのが非常に怖いところだと思いますし、我々も同じですので、どういう形で案を作るのがいいのかっていうのは本当にちゃんと考えた上でしっかり対応したいと思います。

今、YouTube ご覧いただいている方も含めて今おっしゃっていただいているように、校区、やっぱり分けずにみんなでという考え、その他の方法がいいという方で、Google フォ

ームで、もう既に回答いただいている方は、その他で自由意見に「校区変更なしで全員東桃谷」っていう書き方とかそういうのをされてるんですけども、ただ、統一はされておられませんので、今、YouTube をご覧いただいている方で、校区を分けずにとという方は、「その他」ということで回答いただけたらと思います。

会場にお越しの方も、「その他」ということでわけないということ記載をいただけたらと思います。本当に、今日、参加いただいた方、YouTube をご覧いただいている方だけじゃなくてっていう話も含めてちゃんと検討したいと思っております。

(保護者 7)

- ・ 今、言われたように確かにどちらでも良い、その他ってなってるんですけど、このアンケートを言うたら、どちらでも良いついていうのを区域変更なしとかそういうのにはならないのかっていうのと、あとは、結局このアンケート無記名になってるんですけど、記名しなかったら誰が書いたか何かわからないじゃないですか。

その辺に余ってるパンフレットに適当に○しといてってなっても怖いと思うんですけど、何で記名式じゃないかかっていうのはどうなのかなと思います。

(区役所)

- ・ はい、ありがとうございます。本日のものは本日のものとして一旦させていただいて、最初に申し上げたら良かったんですけども、お名前は結構ですという形で言わせてもらえばよかったですですが申し訳ございません。YouTube でご覧いただいている方もたくさんいらっしゃいますので、ここについては今日は無記名のままで、今後、どうするかというのは本当にしっかり考えたいと思いますのでよろしくお願いします。

(保護者 6)

- ・ 何度もすいません。意見というか、ご存知だとは思いますが、改めて知っておいてほしいと思うのは、今回のこの地図のA案の緑になっている部分、冒頭の説明で旧生野中学校校区であった部分ですという説明があったと思います。

それは、私の記憶してる限り、今から二十六、七年前の話だったかなと思っております。というのは自分自身が勝山小学校出身なんですけれども、当時、小学生ながらに、その当時の大人たちが話していることを聞いて、同じ小学校通ったのに中学校上がる時に急に分断されて一部の地域は生野中学に行って、数名だけが全然友達おらへんところに進学するっていうのをかわいそうなんちゃうの、同じ小学校の子は同じ中学校行った方がええんちゃうのっていう、保護者の声であつたり子どもの声があつたから、そのあと変わって、勝山小学校の子は全員、勝山中学校に行きましようというふうに変ったんだというふうに認識をしているので、今回、この再編をすることによって一部の子は東桃谷小学校に行ったとしても、中学校に上がる時には生野未来学

園になる。校区の子はそっちに行くことになって選択制を使わない限り桃谷中学校には行けないっていうのは、結局過去に戻っていることにはならないのでしょうか、ちょっとそのあたりをしっかりと考えていただきたいなというふうに思います。

あと、これ計画されてるかどうかわかりませんが、今回の YouTube でのライブ配信、おそらく記録としてどなたか録画されてるのかなとは思いますが、それを生野区のホームページのわかりやすい部分にリンクを貼り付けるなどして、今回、金曜日の夜ということもあって、お仕事だったりとかご家庭のご事情でなかなか参加できなかった、YouTube 見ることも難しかった、でも本当は聞きたかったっていう方がいらっしゃると思うのでそういった方に対して配慮をしていただくとともに、広報誌の生野とかにもう少しページ数を増やして、今回の説明会でこんな議論あった、こんな説明した、YouTube ホームページにここに載せてるからみんな見てねっていうようなことを、ホームページを見に行かないとわからないのではなくて、せっかく「いくの」という広報誌があるのだからそこから入れる、そういう簡単な方法っていうのも考えていただきたいなと思います。

(区役所)

- ・ はい、ありがとうございます。先ほどの校区の話はもうおっしゃっていただいた通り、平成9年に変わっています。そのときの細かい事情というのは書類上は残ってないんですけども、地域、保護者の方から要望をいただいて、中学校区を変えたというような経過がございます。

ただ、おっしゃっていただいている、そのときに戻るんじゃないかという部分に関しては、今、募集枠という限りはありますけれども、学校選択制という制度の中でできる限りそういうご要望に応える形というのがやっとな進んでいってるところですので、その辺は過去の経緯は経緯として、いただいているご意見というのをどういう形でそしたら反映していけるかというのは、校区を分けたとした場合の話ですが、そういったのはしっかり検討していきたいと思います。

それと、広報の話ですね。やっぱり今日もお叱りを受けました。役所の伝わりにくいという話。広報誌とか何かことあるごとにQRコードを載せたりですとかそういうのをやってます。今日の分、YouTube に自動的にアーカイブ映像という形で保存されますので、それを公開していくという形は検討はしているところです。ただ、その中で、自身が編集できるのかどうかとか本当にもう申し訳ないんですけど、今回、初めてやる話ですので、その辺は可能な対応を検討したいと思っています。

あと、そういった周知などに関してはできれば学校を通じての配布もしくは地域での回覧というものの協力をいただこうという形ではこれまでやってきてるんですけども、またしっかりと地域の方にも回覧とかそういうものの協力をお願いをしてできるだけ早いタイミングで皆さんにお届けできるようにというのはやっていきたいと思

ますのでよろしくお願いします。

(保護者6)

- ・ あと1点、思い出したんですけど、先ほどどなたかから生野区外、天王寺区の小学校を選択するとかっていうことはできないんですか、というご質問の際に、できませんという回答をされたと思うんですね。

それってというのは、私、実際、区役所の方に同じ質問をしたことがあって、できませんではなくて、原則できないというニュアンスだったと思います。例えば、放課後、子どもを見る方、ご実家であったりだとか、ご親戚の方であったりとかっていう方が、例えばその天王寺区の桃陽小学校であったり五条小学校、聖和小学校と近隣の天王寺区の小学校があると思うんですけども、そちらの近くにいるので、帰宅先をそちらにしたい、だからそっちの小学校を選びたいですとか、自分の仕事先がそちらにあるので、何かあったときにはそっちに行くようにしたいんでそこを選びたいというような具体的な理由がある方については希望することができたというふうな説明を受けた記憶があるんですけども。できないという回答ってというのは、ちょっと語弊があるように受け取ってしまうんじゃないかなとは思いますがいかがでしょう。

(区役所)

- ・ はい、ありがとうございます。結論から申しますと、学校選択制で区外を選ぶことはできない、これが答えなんです。

今、おっしゃっていただいたのは、指定校変更という制度があります。ややこしくて申し訳ないですが、それがまさに今おっしゃっていただいたような、個別特別な事情がある場合、例えば、校区から引っ越したけども、元の学校に通うっていうのをよくお聞きになると思います。これが指定校変更という制度なんです。住んでるところの校区に行くというのが指定校なんですけど、そういった形で家庭のご事情があって、同居じゃないけども、親御さんの家が、ここの校区にあるからこっちに行きたいとか、そういう場合は、校区じゃない学校、ちょっと区をまたぐのができたかどうかは今、記憶が定かではないですけどもそういう制度があります、というのがお答えになります。

(保護者6)

- ・ ありがとうございます。

(区役所)

- ・ ご質問ご意見等いかがでしょうか。よろしいですか。本日、ご説明させてもらいました校区変更の話につきまして、Google フォームでも、(会場で) お配りさせてもらっている紙でもどちらでもよいのでご意見をお願いします。

校区をどこで分けるかにつきましては、A B C Dと、本日、ご意見として出ていました「全て東桃谷小へ」という場合は、アルファベットではなく「その他」の欄に、「全て」というような形で記載をお願いしたいというふうに思います。

Google フォームでのご意見の送信につきましては、この説明会終了後、今が22時40分になりますので、23時10分まで、30分間は受付可能としております。30分後には入力できなくなりますのでご了承くださいますようお願いいたします。紙で書かれた方は、(会場の)後方にカゴを置いてありますので、そちらに入れていただきますようお願いいたします。

今日はいろいろ貴重なご意見をいただきまして本当にありがとうございました。本日、いただいたご意見を踏まえて考えてまいりたいと思います。また、今日お配りしたこの資料の一番後ろにお問い合わせ先としまして、我々、地域まちづくり課の電話番号と、メールアドレスを載せています。お問い合わせ、ご意見等があればご連絡いただけたらと思いますので、またよろしくをお願いしたいと思います。本日はありがとうございました。

校区分けアンケート結果 (令和5年1月27日実施分)

選択	票数
A : 生野西1-1・1-1 1と生野西1-1 2・1-1 3で分ける	0
B : 勝山南1丁目と生野西1丁目に分ける	1
C : 勝山北1丁目と勝山南1丁目に分ける (勝山通)	3
校区を分けない	25
どこで分けても良い	3

その他 : 勝山小学校のまま残して欲しい 1